

令和 6 年度
羽村市教育委員会の権限に属する事務
の管理及び執行の状況の点検及び評価
(令和 5 年度分) 報告書

令和 6 年 8 月
羽村市教育委員会

目 次

1	羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価の実施について	1
2	羽村市教育委員会教育目標	2
3	事務事業の点検・評価	6
	子どもたちの育成	9
	地域資源の活用	23
	多様な学習の展開	34
	生涯学習の支援	54
4	点検・評価に関する学識経験者からの意見	67
5	教育委員会の活動の状況	76
	教育委員会の審議事項等	76
	教育委員会委員の主な活動報告	80
	教育委員会学校訪問	83
	資料編	84

1 羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

(1) 点検・評価の目的

羽村市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

(2) 点検・評価の対象

令和5年度羽村市教育委員会の教育目標に基づく次の4つの基本施策に掲げる主な事務事業を対象とする。

（基本施策1）子どもたちの育成

（基本施策2）地域資源の活用

（基本施策3）多様な学習の展開

（基本施策4）生涯学習の支援

(3) 点検・評価の実施方法

ア 点検・評価は、前年度の教育委員会の主な事務事業の取組状況を総括するとともに、課題や今後の取組みの方向性を示すものとし、毎年1回実施する。

イ 事務事業の進捗状況等を取りまとめ、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取したうえで、教育委員会が点検・評価を行う。

ウ 教育委員会において、点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を羽村市議会へ提出するとともに、その報告書を市民に公表するものとする。

2 羽村市教育委員会教育目標

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

同時に、教育は、社会の変化に対応して絶えずそのあり方を見直していかなければならないものであり、経済・社会のグローバル化、情報技術革命、地球環境問題、少子高齢化など、時代の変化に主体的に対応し、日本の未来を担う人間を育成する教育が重要になっている。

また、誰もが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

羽村市教育委員会は、このような考え方に立って、以下の「教育目標」に基づき、積極的に教育行政を推進していく。

教育目標

羽村市教育委員会は、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる生涯学習社会の実現を図る。

また、子どもたちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願うとともに、明日の羽村をつくる能力や態度の育成を目指し、

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

の育成に向けた教育を推進する。

そして、教育は、学校・家庭・地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行わなければならないものであるとの認識に立って、すべての市民が教育に参加することを目指していく。

羽村市教育委員会の基本方針

羽村市教育委員会は、先の「教育目標」を実現するため、次の4つの基本方針を基に、教育施策を実施していく。

基本方針 1

「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

すべての大人、子どもたちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められる。

そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

基本方針 2

「豊かな個性」と「創造力」の伸長

グローバル化と情報技術革命が進展する中で、国際社会に生き社会の変化に対応できるよう、子どもたち一人ひとりに個別最適化された学びを提供し、思考力、判断力、表現力や学びに向かう力、人間性などの資質・能力を育成することが求められる。

そのために、多様な教育ニーズに配慮し、基礎的な学力の向上を図り、子どもたちの豊かな個性と創造力を伸ばすため、小中一貫教育を柱とした特色ある教育を推進する。

基本方針 3

「市民の教育参画」と「総合的な教育力」の充実

学校・家庭・地域の連携、協力とすべての市民の教育参画を進め、子どもたちの健やかな成長を地域社会全体で支えるとともに、市民の感覚と学校経営の感覚をより重視して、教育行政を力強く展開することが求められる。

そのために、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民に信頼される魅力ある学校づくりを支援する。

基本方針 4

「生涯学習」の推進

市民一人ひとりが生涯にわたって学習することができ、その成果を適切に活かすことができる環境を整えることが求められる。

そのために、第二次羽村市生涯学習基本計画に基づき、生涯学習施策の総合的かつ計画的な推進を図る。

令和5年度 教育委員会の主な事務事業

1 子どもたちの育成

- ・子育て関係講座等の充実 <生涯学習推進課>
- ・家庭教育関連情報の提供と啓発 <生涯学習推進課>
- ・小中一貫教育の推進 <学校教育課>
- ・道徳教育の充実 <学校教育課>
- ・健康な体づくりの推進 <学校教育課>
- ・ICT 機器を活用した教育の推進 <学校教育課>
- ・スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の試行実施
<生涯学習総務課、学校教育課>
- ・コミュニティ・スクールの導入 <学校教育課>
- ・部活動の地域連携の推進 <学校教育課>
- ・放課後子ども教室の開室数の充実 <生涯学習推進課>
- ・特別支援教育推進体制の整備 <教育支援課>
- ・特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施 <教育支援課>
- ・教育相談体制の充実 <教育相談室>
- ・家庭と子どもの支援員の活用推進 <教育相談室>

2 地域資源の活用

- ・市内事業所等と協力した社会体験事業の実施 <生涯学習推進課>
- ・人材バンク登録制度の活用 <生涯学習推進課>
- ・図書館ボランティアの育成と支援 <図書館>
- ・学びのきっかけとなる講座の実施 <生涯学習推進課>
- ・地域学校協働本部の活用 <学校教育課>
- ・生涯学習に係る資格等の情報提供 <生涯学習推進課>
- ・企画展の開催 <郷土博物館>
- ・郷土学習のための講座等の実施 <郷土博物館>
- ・文化財に関する情報提供 <郷土博物館>
- ・登録郷土研究員の活用 <郷土博物館>
- ・展示説明員の育成と活用 <郷土博物館>

3 多様な学習の展開

- ・芸術文化の鑑賞機会の提供 <生涯学習推進課>
- ・芸術文化の体験事業の提供 <生涯学習推進課>
- ・市ゆかりの芸術家の作品展の実施 <生涯学習推進課>
- ・ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施 <生涯学習推進課>
- ・活動成果の発表機会の提供 <生涯学習推進課>
- ・子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供 <スポーツ推進課>
- ・スポーツ活動の機会の提供 <スポーツ推進課>
- ・指導者の養成と資質の向上支援 <スポーツ推進課>
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興 <スポーツ推進課>
- ・障害者スポーツの普及啓発 <スポーツ推進課>
- ・図書館業務体験事業の実施 <図書館>
- ・読書への意欲を高めるための講座等の実施 <図書館>
- ・読書手帳の活用 <図書館>
- ・図書館資料活用の推進 <図書館>
- ・「家読（うちどく）」事業等の実施 <図書館>
- ・学校と連携した読書活動への支援 <図書館>
- ・国際理解や多文化共生に関する講座等の実施 <生涯学習推進課>
- ・高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援 <生涯学習推進課>
- ・健康に関する講座等の実施 <スポーツ推進課>
- ・青年学級事業の実施 <生涯学習推進課>

4 生涯学習の支援

- ・文化団体の活動支援 <生涯学習推進課>
- ・スポーツ団体の活動支援 <スポーツ推進課>
- ・団体への補助金の交付 <生涯学習推進課、スポーツ推進課>
- ・団体等の活動情報の収集・提供 <生涯学習推進課>
- ・団体等の情報発信支援 <生涯学習推進課>
- ・生涯学習関連情報の発信 <生涯学習総務課、生涯学習推進課、スポーツ推進課>
- ・生涯学習まちづくり出前講座の活用促進 <生涯学習推進課>
- ・企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施
<生涯学習推進課>
- ・生涯学習コーディネート機能の運用 <生涯学習推進課>
- ・学校施設の計画的な改修工事の実施 <生涯学習総務課>
- ・公共施設予約システムの更改 <生涯学習推進課>
- ・スポーツセンターの管理運営方法の検討 <スポーツ推進課>
- ・弓道場用地の取得 <スポーツ推進課>

3 事務事業の点検・評価

令和6年度の点検・評価対象事業（令和5年度分）は、令和5年度教育委員会の教育目標に掲げる主な事務事業とする。

方向性1 子どもたちの育成

No.	実施事業名	担当課	評価
1	子育て関係講座等の充実	生涯学習推進課	A
2	家庭教育関連情報の提供と啓発	生涯学習推進課	A
3	小中一貫教育の推進	学校教育課	A
4	道德教育の充実	学校教育課	A
5	健康な体づくりの推進	学校教育課	B
6	ICT機器を活用した教育の推進	学校教育課	A
7	スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の試行実施	生涯学習総務課 学校教育課	A
8	コミュニティ・スクールの導入	学校教育課	A
9	部活動の地域連携の推進	学校教育課	A
10	放課後子ども教室の開室数の充実	生涯学習推進課	A
11	特別支援教育推進体制の整備	教育支援課	A
12	特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施	教育支援課	A
13	教育相談体制の充実	教育相談室	C
14	家庭と子どもの支援員の活用推進	教育相談室	A

方向性2 地域資源の活用

No.	実施事業名	担当課	評価
15	市内事業所等と協力した社会体験事業の実施	生涯学習推進課	A
16	人材バンク登録制度の活用	生涯学習推進課	B
17	図書館ボランティアの育成と支援	図書館	A
18	学びのきっかけとなる講座の実施	生涯学習推進課	A
19	地域学校協働本部の活用	学校教育課	A
20	生涯学習に係る資格等の情報提供	生涯学習推進課	B
21	企画展の開催	郷土博物館	A
22	郷土学習のための講座等の実施	郷土博物館	A
23	文化財に関する情報提供	郷土博物館	A
24	登録郷土研究員の活用	郷土博物館	B
25	展示説明員の育成と活用	郷土博物館	A

方向性3 多様な学習の展開

No.	実施事業名	担当課	評価
26	芸術文化の鑑賞機会の提供	生涯学習推進課	A
27	芸術文化の体験事業の提供	生涯学習推進課	A
28	市ゆかりの芸術家の作品展の実施	生涯学習推進課	A
29	ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施	生涯学習推進課	A
30	活動成果の発表機会の提供	生涯学習推進課	B
31	子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供	スポーツ推進課	A
32	スポーツ活動の機会の提供	スポーツ推進課	A
33	指導者の養成と資質の向上支援	スポーツ推進課	A
34	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興	スポーツ推進課	A
35	障害者スポーツの普及啓発	スポーツ推進課	A
36	図書館業務体験事業の実施	図書館	A
37	読書への意欲を高めるための講座等の実施	図書館	A
38	読書手帳の活用	図書館	A
39	図書館資料活用の推進	図書館	A
40	「家読（うちどく）」事業等の実施	図書館	A
41	学校と連携した読書活動への支援	図書館	A
42	国際理解や多文化共生に関する講座等の実施	生涯学習推進課	A
43	高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援	生涯学習推進課	A
44	健康に関する講座等の実施	スポーツ推進課	A
45	青年学級事業の実施	生涯学習推進課	A

方向性 4 生涯学習の支援

No.	実施事業名	担当課	評価
46	文化団体の活動支援	生涯学習推進課	A
47	スポーツ団体の活動支援	スポーツ推進課	A
48	団体への補助金の交付	生涯学習推進課 スポーツ推進課	A
49	団体等の活動情報の収集・提供	地域振興課 生涯学習推進課	A
50	団体等の情報発信支援	生涯学習推進課	A
51	生涯学習関連情報の発信	生涯学習総務課	A
		生涯学習推進課	A
		スポーツ推進課	A
52	生涯学習まちづくり出前講座の活用促進	生涯学習推進課	A
53	企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施	生涯学習推進課	A
54	生涯学習コーディネート機能の運用	生涯学習推進課	A
55	学校施設の計画的な改修工事の実施	生涯学習総務課	B
56	公共施設予約システムの更改	生涯学習推進課	A
57	スポーツセンターの管理運営方法の検討	スポーツ推進課	A
58	弓道場用地の取得	スポーツ推進課	A

実施事業

子育て関係講座等の充実

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○家庭教育セミナー(子育て講座)の実施 1事業		
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○家庭教育セミナー(子育て講座)の実施 参加者数74人/定員180人(会場:コミュニティセンター 3階ホール) 参加者の満足度 98% ※開催時期や曜日を見直して実施		
成果・効果	羽村市立小・中学校PTA連合会研修部と連携し、「うちの子 勉強しないんですけど」への 処方箋」をテーマに家庭教育セミナーを実施することができた。 参加者のアンケートでは、満足度は98%と目標を上回る高い結果となった。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	対象となる保護者が参加しやすいよう、開催時期や曜日を見直して実施したが、参加率が 41%と前年度(58%)と比較しても低く、参加者数を増やしていく工夫が必要である。 引き続き、羽村市立小・中学校PTA連合会研修部と連携し、また子育て関連の他事業との連 携なども検討し、家庭教育に関するセミナーを開催していく。		

実施事業

家庭教育関連情報の提供と啓発

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○就学児健診での「家庭教育ははじめの一步」の配布 ○市公式サイトでの周知		
目標（指標）	○就学児健診での「家庭教育ははじめの一步」の配布 全小学校		
取組実績	○就学児健診で「家庭教育ははじめの一步」を配布 全小学校（7校） ○市公式サイトに「家庭教育ははじめの一步」を掲載		
成果・効果	保護者に対して家庭での教育に関する情報提供を行い、子供たちが健やかに社会へ巣立つための家庭教育を考えるきっかけすることができた。 スマートフォンから市公式サイトで閲覧できるよう、冊子版「家庭教育ははじめの一步」に二次元コードを掲載した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、保護者に対し家庭教育に関する情報提供を行う。また、市公式サイトにアクセスしやすくするための手法等について検討する。		

実施事業

小中一貫教育の推進

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和5年度 事業内容	これまでの羽村市の小中一貫教育を礎とし、「生きる力」の基礎となる学びの保障と児童・生徒の可能性を引き出す指導を充実するための、義務教育9年間の教科等のカリキュラムを研究・開発する。		
目標（指標）	○小中一貫教育カリキュラム等開発委員会（10部会）の開催 ○カリキュラム等の作成（10部会）		
取組実績	○小中一貫教育カリキュラム等開発委員会の開催（10部会） ○教科等のカリキュラムの研究・作成		
成果・効果	小中一貫教育カリキュラム等開発委員会を開催し、分科会ごとに、義務教育9年間を通したカリキュラムを作成した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	作成したカリキュラムについて、教育研究会と連携を図り、授業実践するなかで内容の検証・改善を図るとともに、教員の指導力向上につなげていく。		

実施事業

道徳教育の充実

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和5年度の内容	特別の教科である道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図ることで、自己の生き方を考え、主体的な判断のもと、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 また、道徳教育への保護者や地域の理解及び連携を促進させるため、道徳授業地区公開講座における保護者や地域との意見交換会等の実施と充実に取り組んでいく。		
目標（指標）	○道徳授業地区公開講座における意見交換会等の実施		
取組実績	各学校において道徳授業地区公開講座を実施し、その際保護者や地域との意見交換を行った。		
成果・効果	保護者や地域の方の理解促進につなげるための道徳授業地区公開講座を開催することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、道徳授業地区公開講座を開催するとともに、保護者や地域との意見交換も継続的に実施する。		

実施事業

健康な体づくりの推進

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和5年度 の 内容	体育に関する指導において、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくとともに、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるよう、10月の体力行動努力月間や日ごろの活動を通じて取り組んでいく。 健康に関する指導において、児童・生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に取り組んでいく。		
目 標（指 標）	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上 令和4年度 小5 男子94.5% 女子86.2% 中2 男子91.7% 女子80.3%		
取 組 実 績	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上 令和5年度 小5 男子94.5% 女子90.8% 中2 男子90.1% 女子76.5%		
成 果 ・ 効 果	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合は、小学校5年生女子は前年度から向上し、5年生男子は横ばいとなった。中学校2年生は男女とも前年度に比べ低下した。		
評 価（達 成 度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課 題 ・ 対 応	引き続き、体育及び健康に関する指導を通じて、健康な体づくりを推進していく。 なお、国及び東京都の平均値は次のとおり。 小5 男子(国:92.9%、都:93.5%) 女子(国:85.7%、都:87.8%) 中2 男子(国:89.4%、都:89.5%) 女子(国:76.5%、都:78.8%)		

実施事業

ICT機器を活用した教育の推進

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和5年度 事業内容	1人1台端末などのICT機器を教育活動のさまざまな場面で活用し、「一人一人の理解度や学習進度に応じた学び」や「主体的・対話的で深い学び」を充実させることで、多様な子どもたちの個別最適化した学習の実現に向け、誰一人取り残すことなく取り組んでいく。		
目標（指標）	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○ICT支援員の配置 2人		
取組実績	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○ICT支援員の配置 2人		
成果・効果	GIGAスクールサポーター及びICT支援員（授業支援・運用アドバイス等）を配置することで、ICT機器を活用した効果的な授業実践ができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、GIGAスクールサポーター及びICT支援員を配置し、ICT機器を活用した教育活動の充実を図る。		

実施事業

スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の試行実施	
----------------------------	--

【担当課】生涯学習総務課、学校教育課

【関連課】スポーツ推進課

令和5年度の事業内容	○小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)のスイミングセンターでの水泳授業試行及び、専門の指導員による水泳指導を実施する。		
目標（指標）	○水泳授業の実施日数:武蔵野小学校15日、松林小学校5日		
取組実績	○小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)において、スイミングセンターでの水泳授業を実施した。 ・実施日数 通常の学級 松林小学校 7日(期間:5月～8月) 武蔵野小学校 13日(期間:9月～10月) 特別支援学級 松林小学校・武蔵野小学校合同 5日(7月～9月) ・移動方法 松林小学校 徒歩(隣接) 武蔵野小学校 バス送迎		
成果・効果	スイミングセンターで水泳授業を実施したことで、天候等の影響に関係なく、また、専門指導員による指導により、安全管理で各児童のレベルにあった水泳授業を実施することができた。 また、教員の水泳授業に係る負担を軽減することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
—	未実施		
課題・対応	○水泳授業の外部委託については有効的であることから、引き続き小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)の水泳授業はスイミングセンターで実施していくとともに、他学校についても同様に実施できるよう検討していく。 ○使用しなくなった学校既設プールの扱いについて、今後、研究していく。		

実施事業

コミュニティ・スクールの導入	
----------------	--

【担当課】学校教育課

【関連課】生涯学習推進課

令和5年度 事業内容	コミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)を導入し、地域住民や保護者の学校運営への参画を推進し、地域に根差した特色ある学校づくりに取り組む。 令和6年度の全校導入に向けた準備を進める。		
目標(指標)	○コミュニティ・スクールの導入 2校 ○コミュニティ・スクールの導入に向けた準備 8校		
取組実績	○栄小学校、羽村第一中学校でコミュニティ・スクールを導入した。 ○他8校については、令和6年度当初の導入に向け、準備を行った。 ○関係者、一般市民を対象としたコミュニティ・スクールに関する研修会を実施した。 ○コミュニティ・スクールについてのリーフレットを作成した。		
成果・効果	コミュニティ・スクール導入校では、コミュニティ・スクール委員会を開催し、学校の現状・課題を踏まえ、今後の教育活動について意見を交わし、取組につなげることができた。 令和6年度から導入する学校については、委員の任命準備等を行った。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	円滑にコミュニティ・スクールの導入・実施ができるよう、伴走型支援を行う。		

実施事業

部活動の地域連携の推進

【担当課】学校教育課

【関連課】生涯学習推進課、スポーツ推進課

令和5年度の 事業内容	部活動の地域連携に向けて、懇談会の開催や、中学校と市内スポーツ団体、文化・芸術団体との連携の推進に取り組む。		
目標（指標）	○羽村市立学校における部活動の地域移行に関する懇談会の開催（4回） ○中学校と市内スポーツ団体、文化・芸術団体等との連携・協働の推進 ○地域と連携して実施する部活動の検討		
取組実績	○中学校と市内スポーツ団体、文化・芸術団体等との連携・協働の推進 ○地域と連携して実施する部活動の検討		
成果・効果	市内スポーツ団体、文化・芸術団体等を対象とした部活動の地域移行に向けたアンケートを実施し、各団体の活動内容や受け入れ先候補団体を把握した。（50団体）		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	団体等へのアンケートにより、受入が可能な団体を集約するなど、地域移行に向けた基礎情報を集約することができた。 今後は、具体的な実施に向け、学校、保護者、団体への説明等を行い、一部の活動を試行していく。		

実施事業

放課後子ども教室の開室数の充実	
-----------------	--

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	〇市内小学校7校全てにおける週2回の開室		
目標（指標）	〇4月から開始		
取組実績	〇4月から、放課後子ども教室を市内全小学校で週2回開室 〇参加児童数 延べ15,524人		
成果・効果	放課後子ども教室を市内全小学校で週2回開室とし、放課後の子供の居場所を地域の方の支援を受けて提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、学校関係者や学童クラブ関係者と連携して全小学校で放課後子ども教室の運営を行う。 社会教育委員の会議への「放課後子ども教室の取り組むべき方向性」について諮問し、実施内容や運営に関する答申を受けた。答申では、学校内の施設のさらなる活用、開室日数の増加、地域の方の協力によるプログラムなど活動内容の充実に関すること、特別な配慮が必要な児童の増加や安定的なスタッフ確保の課題など、事務局も含めた運営体制に関する課題が整理され、今後は答申に基づき対応を図っていく。		

実施事業

特別支援教育推進体制の整備

【担当課】教育支援課

【関連課】学校教育課、教育相談室、子育て相談課

令和5年度 事業内容	全ての学校・学級に特別な指導・支援を必要とする児童・生徒が在籍するとの認識のもと、一人ひとりの児童・生徒が安心して豊かに学べる教育環境を整備し、特別支援教育体制を充実する。 ○介助員、支援員の配置 ○専門職を活用した就学、転学相談の充実		
目標（指標）	○就学・転学相談者の肯定的な回答 80%以上		
取組実績	○特別支援教育推進体制の充実のため、介助員、支援員の配置（介助員21人、支援員21人） 介助員設置要綱について、必要に応じて加配措置ができるよう一部改正した。（令和6年4月1日施行） ○令和5年度における就学相談員の就学・転学相談の実施件数 100件 相談が終結した案件のうち、アンケート回答提出62件からの肯定的な回答59件（95.2%）		
成果・効果	介助員、支援員を各学校に適切に配置し、特別な支援を必要とする児童・生徒が安心して学ぶ環境を整備するとともに、就学・転学相談では就学相談員のきめ細かい聞き取りにより、相談者に寄り添った対応を推進し、相談体制の充実を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	介助員、支援員に資質向上のための研修を実施するとともに、引き続き、各学校に適切に配置していく。 多様化・増加傾向にある相談内容に対し、関係機関と連携して適切に対応していく。		

実施事業

特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施	
-------------------------	--

【担当課】教育支援課

【関連課】教育相談室

令和5年度の 事業内容	○特別な支援を要する児童・生徒の適切な学びの場を保障するため、特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒を対象に発達検査を実施する。		
目標（指標）	○指導期間延長の協議を令和6年1月末までに終了させる。		
取組実績	○対象児童・生徒の発達検査を令和6年1月末までに実施した。 ○特別支援教室における指導期間延長の協議件数が増加したため、令和6年1月末までの協議終了が困難となり、令和6年2月に臨時の入室支援委員会を開催し、協議終了することができた。件数 64件 ○協議件数の増加に対応するために、教育相談員による発達検査の追加的な実施体制を組み、発達検査を実施した。件数 25件		
成果・効果	特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒に対し、適切な学びの場を保障することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	特別支援教室を利用する対象児童・生徒及び指導期間の延長を要する児童・生徒が増加傾向にあり、発達検査の需要が急増しており、実施体制の強化と平準化することが必要になってきている。		

実施事業

教育相談体制の充実

【担当課】教育相談室

【関連課】教育支援課、学校教育課、子ども家庭支援センター

令和5年度の内容	全児童・生徒を対象に実施する生活アンケートを教育相談員が分析し、巡回教育相談において活用することで、不登校等の未然防止・早期対応に向けたきめ細やかな教育相談体制を充実させる。		
目標（指標）	○不安や悩みを抱えていると分析した児童・生徒に関する情報の学校への提供		
取組実績	○令和5年7月に全児童・生徒を対象に1人1台端末により「こころのアンケート」を実施した。アンケート結果を年度内に学校へ提供できず、翌年度の提供となった。 （小学生2,343人、中学生1,175人） 不登校等の未然防止や問題行動等への早期対応、児童・生徒の不安や悩みに対し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門人材のほか、家庭と子供の支援員や新たに校内別室指導員を配置し、相談体制の充実を図った。 （スクールカウンセラーを全校配置、スクールソーシャルワーカーを中学校区ごとに配置、家庭と子供の支援員10校13人、校内別室指導支援員3校11人）		
成果・効果	「こころのアンケート」の実施は、児童・生徒が抱える不安や悩み等の一人一人の状態を把握する上で継続的に実施する意義がある。児童・生徒の早期支援のために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門人材による相談・支援体制を整備した。		
評価（達成度）	C	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	アンケート結果を年度内に各学校へ迅速に提供することが優先的課題である。各学校における対応・指導に速やかに活用するため、アンケート期限後に学校へ提供するまでの標準日数を設定する。		

実施事業

家庭と子どもの支援員の活用推進

【担当課】教育相談室

【関連課】学校教育課

令和5年度の 事業内容	各学校における別室登校、登校しぶり、不登校の児童・生徒に対し、家庭と子どもの支援員の活用による支援を推進する。		
目標（指標）	家庭と子どもの支援員活動時間 年間1,400時間		
取組実績	○登校しぶりや不登校傾向にある児童・生徒の登校支援や問題行動の未然防止のため、家庭と子供の支援員を市内全小・中学校に配置した。(10校13人、年間1,269時間) ○学校生活や家庭において課題の見られる児童・生徒へ直接関わるとともに、学校と家庭をつなぐ役割を担い、保護者への助言など、相談支援を行った。(支援児童・生徒数合計87人)		
成果・効果	欠席児童・生徒への電話連絡等を通じて、登校支援につながる相談、通学路での立哨など、学校と家庭をつなぎ、児童・生徒の学校生活の安定につなげることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	家庭と子供の支援員の担い手が不足し、確保が課題になってきており、欠員を出さないよう適切に配置していく。		

実施事業

市内事業所等と協力した社会体験事業の実施	
----------------------	--

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○市内事業所等の見学 1事業		
目標（指標）	○定員数の70%以上の参加		
取組実績	○わが街羽村を知るシリーズ 出前講座篇「(株)電子制御国際」「ニプロ(株)東京CPF」 実施日 令和5年11月23日 参加者数58人/申込者数58人/定員60人 参加率 100%(定員に対する参加者 96.6%) 満足度 87%		
成果・効果	ゆとりぎ協働事業運営市民の会が企画・運営を行い、市民を対象に市内事業所を知る出前講座を行い、2社の事業やその役割を学ぶことができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働で、市内事業所を知る講座を行っていく。 また、市内事業者を知ることから地域雇用につなげていくため、対象や周知方法について工夫していく。		

実施事業

人材バンク登録制度の活用

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○はむら人ネットガイドの発行 1回		
目標（指標）	○新規登録者 3人 ○人材バンク利用 3件		
取組実績	○はむら人ネットガイドの発行 1回 ○新規登録者 0人 ○人材バンク利用（問合せ） 2件		
成果・効果	はむら人ネットガイドを発行し、学ぶ意欲のある市民に、生涯学習に関する特技や技能、知識などを提供したい市民の情報を提供することができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		制度の利用（問合せ）はあったが、新規登録者はいなかったため、引き続き、新規登録者を募集し、市民へ制度について情報提供を行っていく。	

実施事業

図書館ボランティアの育成と支援

【担当課】図書館

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○図書館ボランティアの受け入れ ○図書館ボランティア養成講座の実施		
目標（指標）	○図書館ボランティア養成講座受講者数 5人		
取組実績	○本の読み聞かせ、書棚書庫整理、屋上緑化等のボランティア活動への支援 ○羽村市図書館開館50周年を記念した感謝状の授与(11団体) ○図書館ボランティア養成講座の開催 ・実施日 令和6年2月11日(日) ・テーマ「お話会のすすめ方を学ぶ」 ・受講者数 7人 ○個人ボランティアの活動(書架整理) 2人		
成果・効果	図書館ボランティアについては、幼児から社会人を対象とした各種の読み聞かせ会や学校読み聞かせ会への参加依頼を通じて各団体の活動機会や活動場所の支援を行った。 各団体への表彰については、図書館から感謝の意を伝えることができた。 図書館ボランティア養成講座に関しては、通常の読み聞かせの手法等に加え、特別な配慮が必要な児童・生徒への注意点等の教示もあり、受講者の知識の向上につながった。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	各団体への新規加入者が減少しているため、引き続き募集案内を含め支援を継続していく。 図書館ボランティア養成講座については、団体への新たな参加には至らなかったが、今後も団体での活動への架け橋となるようなテーマを設定し、団体の活動が活発化することをもって図書館サービスの向上を図る。		

実施事業

学びのきっかけとなる講座の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○初心者講座の実施 4回		
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○初心者講座「ビーズ刺繍ワークショップ」の実施 4回 （令和6年2月11日・18日・25日、3月3日） ○参加者数9人/定員9人 ○参加者の満足度 100%		
成果・効果	生涯学習の初心者講座として「ビーズ刺繍ワークショップ」を実施した。講座終了後、参加者によるサークル化が図られた。 アンケート結果では、回答者の100%の方が「良かった」と評価した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、市民の生涯学習のきっかけや受講後のサークル化・活動の発表による交流を創出するため、初心者講座を開催していく。		

実施事業

地域学校協働本部の活用

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和5年度 事業内容	地域学校協働活動の地域コーディネーターを活用し、学校のニーズを把握するとともに、知識や技能を有する地域人材の発掘及び学校との連携に努めるなど、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実を図る。 また、コミュニティ・スクールを導入する学校に活動推進員を配置し、学校と地域が一体となった活動を推進するとともに、コミュニティ・スクール委員会との連携を図る。		
目標（指標）	○コーディネーターの配置 3人 ○活動推進員の配置 2校		
取組実績	○コーディネーターの配置 3人 ○活動推進員の配置 2校		
成果・効果	各中学校区に配置したコーディネーターを中心に、学校と連携しながら、学校のニーズに沿った地域人材の発掘等を行うことで、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	コミュニティ・スクールの導入により、地域学校協働本部との連携がこれまで以上に重要となる。		

実施事業

生涯学習に関する資格等の情報提供

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度 事業内容	○市公式サイトでの情報発信 ○資格認証制度の相談受付		
目標（指標）	○「はむらの教育」への記事の掲載 2回		
取組実績	○市公式サイト及び「はむらの教育」に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度に関する情報を掲載し、市民へ情報発信を行った。 ○資格認証制度の相談受付を行った。		
成果・効果	市民に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度を情報提供し、生涯学習に関する資格について情報提供を行うことができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	市公式サイトに社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度に関する情報を掲載し、市民への情報提供を行ったが、「はむらの教育」への記事掲載は1回のみであった。 情報発信方法等を見直し、引き続き、市民へ生涯学習に関する資格等の情報を提供していく。		

実施事業

企画展の開催

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○企画展「こいのぼりと五月人形」 ○企画展「はむらの養蚕(仮)」 ○企画展「むかしのくらし」 ○企画展「ひな人形展」		
目標（指標）	○郷土博物館入館者数 20,000人		
取組実績	○入館者数 24,055人 ○企画展「こいのぼりと五月人形」 令和5年4月15日～5月14日、入館者数1,847人 ○企画展「はむらの養蚕展」 令和5年10月7日～11月26日、入館者数5,962人 ○企画展「むかしのくらし」 令和6年1月4日～21日、入館者数1,172人 ○企画展「ひな人形展」 令和6年2月3日～3月3日、入館者数1,800人		
成果・効果	○常設展示や企画展示を通じて、郷土を学ぶ機会を図れた。 ○市の歴史、文化を分かりやすく展示することにより理解促進を図れた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		今後も魅力ある展示を企画・運営し、リピーターや新たな来館者の獲得を図る。	

実施事業

郷土学習のための講座等の実施

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和5年度の内容	○体験学習会「まゆから糸をひこう！」 ○歴史講座「歴史散歩 中里介山(仮)」 ○歴史講座「水文学とはむら(仮)」 ○体験学習会「市内小学3年生郷土学習」7校実施		
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○体験学習会「まゆから糸をひこう！」 令和5年8月12日、参加者数22人/定員20人、満足度100% ○歴史講座「羽村の生んだ文豪中里介山の足跡めぐり」 令和5年10月21日、参加者数14人/定員15人、満足度100% ○歴史講座「羽村市周辺の水文環境」 令和5年11月18日、参加者数22人/定員30人、満足度91% ○体験学習会「市内小学3年生郷土学習」7校実施		
成果・効果	講座や体験学習を通じて、郷土の歴史や文化、自然環境を学習する機会を図れた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	アンケート結果を今後の講座や体験学習に生かし、魅力ある講座等を実施する。		

実施事業

文化財に関する情報提供	
-------------	--

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和5年度 事業内容	○文化財説明板の作成設置 1カ所 ○『羽村市郷土博物館紀要』第38号の発行 1回 ○「東京文化財ウィーク」への参加 ○「多摩郷土誌フェア」への参加 ○郷土博物館公式ツイッターでの情報発信		
目標（指標）	○『紀要』への文化財関係論考の掲載 1本 ○ツイッターフォロワー数 500人		
取組実績	○文化財説明板の修繕 1カ所 ○『羽村市郷土博物館紀要』第38号の発行（文化財関係論考3本） ○「東京文化財ウィーク」 令和5年10月1日～11月30日期间中、企画展示及び歴史講座2講座を実施 入館者数 6,830人、参加者数36人/定員45人 ○「多摩郷土誌フェア」への出展、紀要等の図書販売 令和6年1月20日、21日 ○郷土博物館公式X(旧ツイッター)フォロワー数 1,000人(3月末現在)		
成果・効果	様々な媒体を利用し、市内文化財に関する情報を発信した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	○公式X(旧ツイッター)など、新たな情報発信を活用し来館者の獲得を図る。 ○電子化を含め今後の紀要の在り方について、検討する。		

実施事業

登録郷土研究員の活用

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和5年度 事業内容	郷土博物館登録郷土研究員の専門分野で調査・研究された成果について、歴史講座の講師及び企画展への協力、郷土博物館紀要への論考掲載などにより市民に提供する。また、情報収集を行い新たな人材を発掘する。		
目標（指標）	○登録郷土研究員新規登録者 1人以上		
取組実績	○登録郷土研究員の新規登録者数 0人（調整中1人） ○「羽村市郷土博物館紀要」第38号への論考掲載（文化財関係論考3本）		
成果・効果	○登録郷土研究員を活用し、博物館紀要への調査・研究の論考掲載により、市民等へ情報を発信した。（主な内容は、中里介山、養蚕及び玉川上水に関する事） ○新規登録者については、3月末現在、1名と調整中		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	○今後も継続して情報収集を行い、人材発掘に努めていく。 ○登録郷土研究員 19人（R6.3.31現在）		

実施事業

展示説明員の育成と活用

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和5年度 事業内容	社会科見学として来館する都内小学校4年生に対し、玉川上水の歴史と役割について展示説明を行う。 また、展示説明員の専門知識や説明能力の向上を図る。		
目標（指標）	○社会科見学校数 100校		
取組実績	○社会科見学校数 111校 ○展示説明員市内視察 令和6年2月21日		
成果・効果	都内小学校4年生に対し、玉川上水の歴史と役割について展示説明を行うとともに、玉川上水の学習を支援できた。 また、展示説明員の能力向上を図るため、市内視察研修を実施した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	今後も継続して展示説明員希望者を受け入れ、展示説明員を安定的に確保していく。		

実施事業

芸術文化の鑑賞機会の提供

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○芸術文化の鑑賞事業の実施 16事業		
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○芸術文化の鑑賞事業の実施 16事業 参加者の満足度 約90% 参加者数11,514人（うち定員がある事業4,238人/定員7,977人） 音楽…「国立音楽大学コンサート」 「仲道郁代ピアノコンサート」 「想ひ出の映画館コンサート」 「子ども国際交流音楽祭」 美術…「22thアートinはむら展」 「羽村ゆとろぎアーツプロジェクト（武蔵野美術大学連携）」 「絵本原画展 きくちちき絵本原画展」 「原田丕作品展」 「ゆとろぎ美術館（年3期）」 文化…「伝統文化交流事業 五十嵐誠木工芸展」 「伝統文化inゆとろぎ ゆとろぎでお正月を遊ぼう！」 映画…「ゆとろぎ想ひ出の映画鑑」 「子ども映画会（年12回）」 芸能…「ゆとろぎ寄席 特別公演」 「羽村ゆとろぎ寄席（年4回）」 「吉本お笑いライブ」		
成果・効果	ゆとろぎ協働事業運営市民の会や関係団体等と連携し、芸術文化の鑑賞事業を実施することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、芸術文化の鑑賞事業を実施していく。		

実施事業

芸術文化の体験事業の提供

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の事業内容	○芸術文化の体験事業の実施 2事業		
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○芸術文化の体験事業の実施 2事業 参加者の満足度 89% 参加者数491人/定員874人 「仲道郁代ピアノコンサート(こどもミニコンサート)」(令和6年1月13日) 「子ども国際交流音楽祭」(令和5年10月9日)		
成果・効果	近隣市町等と連携し、芸術文化の体験事業を実施することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、芸術文化の体験事業を実施していく。		

実施事業

市ゆかりの芸術家の作品展や演奏会等の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○作品展 2事業		
目標（指標）	○来場者の満足度 80%以上		
取組実績	○作品展の実施 2事業 ・「原田丕展」 令和5年11月1日～11月12日、入廊1,624人、満足度87% ・伝統文化交流事業inゆとりぎ 「五十嵐誠 木のしごと展ー工芸から修復までー」 令和6年1月27日～2月12日、入廊1,338人、満足度98.7%		
成果・効果	羽村市ゆかりの芸術家による作品展を開催し、地域の芸術文化の振興を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	羽村市ゆかりの芸術家の活動を紹介することは、地域への愛着や誇り、文化的環境の充実に繋がるため、継続的に事業を実施していく。		

実施事業

ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の事業内容	○ホール事業 3事業 ○展示事業 4事業 ○講座事業 8事業 ○サポートグループ(市民の会)との連携(随時)		
目標(指標)	○参加者・来場者の満足度 80%以上		
取組実績	○ホール事業の実施 3事業 「ゆとりぎ想ひ出の映画鑑」 「子どもフェスティバル」 「想ひ出の映画館コンサート」 ○展示事業の実施 4事業 「22thアートinはむら展」 「絵本原画展 きくちちき絵本原画展」 「原田丕作品展」 「ゆとりぎ美術館(年3期)」 ○講座事業の実施 7事業 「デジタル紙芝居づくりで楽しさ体験スクラッチプログラミング(SDGs編)」 「ゆとりぎ先端テクノロジー講座」 「ゆとりぎ身近なサイエンス講座」 「ゆとりぎ文学講座『近・現代編 佐藤春夫の世界』」 「わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇」 「近・現代史講座」 「夏休み子ども講座『風の力、ゴムの力をつかった工作教室』」 ○サポートグループ(市民の会)との連携(レセプション、植栽、保育) ○参加者・来場者の満足度 満足度80%超		
成果・効果	ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、ホール事業、展示事業、講座事業を実施することができた。また、年間を通じてサポートグループと連携し、ゆとりぎの事業運営や施設管理に協力をいただいた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、ゆとりぎでの事業の企画運営や施設管理を行っていく。		

実施事業

活動成果の発表機会の提供

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の事業内容	○文化祭の実施 ○HAMURAメリーリボン演劇祭の実施		
目標（指標）	○参加人数 文化祭・延べ2万人以上 HAMURAメリーリボン演劇祭・延べ400人以上		
取組実績	○HAMURAメリーリボン演劇祭 令和5年7月15日・16日（ゆとろぎ小ホール）、来場者数延べ1,567人（参考：令和4年度 1,431人） ○文化祭 令和5年10月8日～11月3日（ゆとろぎ全館）、来場者数延べ15,157人（参考：令和4年度 11,935人）		
成果・効果	HAMURAメリーリボン演劇祭、文化祭の実施により、市民のサークル活動や学習活動の成果発表の機会を提供することができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	参加団体が主体的に活動できるよう支援していく。		

実施事業

子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供	
---------------------	--

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】子育て相談課

令和5年度 事業内容	○児童館における子どもの運動能力の向上を促す遊びの機会の充実		
目標（指標）	○東児童館への指導員派遣事業（スポーツの日）3回		
取組実績	○児童館派遣事業（東児童館スポーツの日）の実施 3回 令和5年9月20日：ポッチャ（パラリンピック競技種目）参加者数13人/定員20人 11月15日：ラダーゲッター（ニュースポーツ）参加者数5人/定員20人 令和6年1月10日：モルック（ニュースポーツ）参加者数14人/定員20人 参加者数1回あたり 平均11人程度		
成果・効果	スポーツ推進委員を東児童館に派遣し、スポーツの体験事業を実施したことにより、子供の運動能力の向上を促す機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。	

実施事業

スポーツ活動の機会の提供

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和5年度 事業内容	○市民体育祭の実施 ○総合体育大会の実施 ○駅伝大会の実施 ○フィールドゴルフ大会の実施 ○四季のウォークの実施 ○走り方教室の実施 ○歩き方教室の実施 ○スポーツ体験イベントの実施 ○トレーニングルームプログラムの充実		
目標（指標）	○市民体育祭の実施 1回 ○総合体育大会の実施 1回 ○駅伝大会の実施 1回 ○フィールドゴルフ大会の実施 2回 ○四季のウォークの実施 2回 ○走り方教室の実施 1回 ○歩き方教室の実施 1回 ○スポーツ体験イベントの実施 1回 ○スポーツセンター開館日数 314日		
取組実績	○市民体育祭については、市民意識の変化や他市町村の実施状況等を総合的に判断した結果、新たなスポーツイベントを検討することとした。 ○総合体育大会の実施 1回 総合開会式 令和5年4月1日 令和5年6月～令和6年3月 22日 参加者数2,718人(全競技合計) ○駅伝大会の実施 1回 令和6年3月10日 参加者数523人(98チーム) ○フィールドゴルフ大会の実施 2回 令和5年5月27日 参加者数40人 10月21日 参加者数44人 ○四季のウォークの実施 2回 令和5年9月23日 参加者数23人/定員40人 令和6年3月24日 参加者数38人/定員40人 ○走り方教室の実施 6教室 令和5年9月2日 参加者数99人/定員70人 ○歩き方教室(ウォーキング講座)の実施 1回(2日間) 令和6年2月3日・17日 参加者数延べ21人/定員30人 ○スポーツ体験イベント(はむらスポーツフェスティバル)の実施 1回 令和5年11月25日 参加者数400人 ○スポーツセンター開館日数 314日		
成果・効果	市民がスポーツ活動に気軽に参加できるよう各種イベントを開催したことにより、スポーツ活動の機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		より多くの市民がスポーツに触れ合える機会を創出できるように事業内容の改善を図りながら、定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。	

実施事業

指導者の養成と資質の向上支援	
----------------	--

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○スポーツリーダー養成講習会の実施 ○熱中症対策講習会の実施		
目標（指標）	○スポーツリーダー養成講習会の実施 1回 ○熱中症対策講習会の実施 1回		
取組実績	○スポーツリーダー養成講習会の実施 1回（3日間） 令和6年1月13日・20日・28日 参加者数延べ62人/認定者総数122人 ○熱中症対策講習会の実施 1回 令和5年5月6日 参加者数15人/定員50人		
成果・効果	スポーツ指導に関する専門意識を習得するための講習会を開催したことにより、スポーツ団体の指導者の「養成」と「資質向上」を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。		

実施事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興	
--	--

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和5年度 事業内容	○オリンピック競技種目体験教室の実施		
目標（指標）	○オリンピック競技種目体験教室の実施（パラリンピック競技種目教室と同時開催） 1回		
取組実績	○オリンピック競技種目「トランポリン」体験教室の実施（はむらスポーツフェスティバル内で実施） 指導：世界選手権に出場した現役アスリートの佐竹玲奈（(株)プリモ所属） 令和5年11月25日 参加者数20人/定員24人		
成果・効果	オリンピック競技大会には、様々な種目があることを理解していただくとともに、生涯を通じて実践したいと思えるスポーツを選択するきっかけづくりを提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。		

実施事業

障害者スポーツの普及啓発	
--------------	--

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】障害福祉課

令和5年度の内容	○パラリンピック競技種目体験教室の実施 ○ボッチャはむら大会の実施 ○障害者スポーツ指導者の養成		
目標（指標）	○パラリンピック競技種目体験教室（ボッチャ以外）の実施（オリンピック競技種目教室と同時開催） 1回 ○パラリンピック競技種目体験教室（ボッチャ）の実施 1回 ○ボッチャはむら大会の開催 1回 ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 1回		
取組実績	○パラリンピック競技種目「シッティングバレー」体験教室の実施（はむらスポーツフェスティバル内で実施） 令和5年11月25日 参加者数約150人 ○ボッチャ体験教室の実施 1回 令和5年11月5日（はむら市民と産業のまつり内で実施）参加者数延べ588人 ○ボッチャはむら大会の開催 1回 令和5年12月9日 参加者数44人（12チーム） ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 ボッチャ実技研修1回 令和6年2月17日 参加者数13人		
成果・効果	東京2020大会を契機とした障害者スポーツの普及啓発を図るとともに、障害者スポーツの指導者等の育成・充実を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。		

実施事業

図書館業務体験事業の実施

【担当課】図書館

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○1日司書体験の実施 小学校高学年対象 ○YAボランティア体験の実施 中学生・高校生対象		
目標（指標）	○体験事業の参加者合計 7人		
取組実績	○1日司書体験は「夏休み司書体験」に名称を変更して実施 ・実施日 令和5年7月26日 ・参加者数8人（小学校高学年）／定員8人 ・内容 カウンター業務・書架整理・選書作業等 ○YAボランティア体験 ・実施日 令和5年8月9日・10日 ・参加者数5人（中学生）／定員8人 ・内容 YAコーナーでの展示とプレゼンテーション等		
成果・効果	○夏休み司書体験 アンケートの結果、参加者全員が「これからも図書館を利用したい」「図書館司書になりたい」と回答し、図書館への理解を深めることができた。 ○YAボランティア体験 アンケートの結果、4人が「YAボランティアの募集があれば応募したい」と回答したほか、「2日間という期間が短い」との回答もあり、この年代の図書館感を知る一端となった。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	夏休み司書体験については、定員を増すための事業内容を検討する。 YAボランティア体験については、都立羽村高校、都立羽村特別支援学校へ働きかけ高校生の参加を促す方法を検討する。		

実施事業

読書への意欲を高めるための講座等の実施

【担当課】図書館

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○絵本関連講座の実施 1回(2～3回シリーズ) ○児童文学講演会の実施 1回		
目標(指標)	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○絵本関連講座 【第1回】 ・実施日 令和5年7月22日 ・参加者数18人(親子8組)／定員20人(親子10組) ・内容「科学絵本を体験しよう」 ・満足度 78%(満足7人/アンケート回収9人) 【第2回】 ・実施日 令和6年3月26日 ・参加者数15人／定員15人 ・内容「2時間でカンタンに作れる絵本！」 ・満足度 100%(満足15人/アンケート回収15人) ○児童文学講演会 ・実施日 令和5年9月2日 ・参加者数49人/定員40人 ・内容「きくちちきギャラリートーク」 ・満足度 92%(満足11人/アンケート回収12人)		
成果・効果	絵本関連講座第1回目は、科学絵本に記載された工作や実験を実際に体験することで、「読んで楽しむおはなし」とは違った絵本の魅力を感じてもらうことができた。 絵本関連講座第2回目は、自分で絵本を作る楽しみを知ることによって、絵本の持つ魅力を再確認してもらうことができた。 児童文学講演会については、原画展開催中のギャラリーでのトークライブで、作家自身から作品に込めた思いや創作過程などを聞くことができ、さらにライブペイントを行い、絵本の裏に隠れた作家の思いや絵本の魅力を感じ取ることができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	絵本関連講座については、絵本の持つ魅力を発信し、絵本への興味を通じて継続的な読書活動につなげる役割を果たしていく。 児童文学講演会については、ゆとりぎ共同事業運営市民の会主催の絵本原画展と合わせることで、原画の魅力と作家の思いを直に伝え、読書への意欲を高めていく。		

実施事業

読書手帳の活用

【担当課】図書館

【関連課】

令和5年度 事業内容	○読書手帳・よむちよの活用 ・読書手帳の配布 小・中学校の新1年生に配布 ・読書手帳表彰		
目標（指標）	○読書手帳表彰者数 10人		
取組実績	○読書手帳配布冊数 小学校 806冊（うち新1年生分401冊） 中学校 490冊（うち新1年生分430冊） 羽村高等学校 30冊 一般 187冊 ○読書手帳表彰者 12人		
成果・効果	読書手帳への記録がモチベーションとなって、読書活動の習慣化が図られた。その結果、令和5年度においては、小学生での複数回受賞（通算1,000冊以上）が3人誕生した。表彰式で進呈している記念品の中の、受賞者特別キラキラカードが好評であり、なお一層の図書館利用のモチベーションとなった。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	読書手帳の活用は、個人の読書意欲を後押しし、読書活動につなげられると考えられるので、引き続き事業を継続していく。		

実施事業

図書館資料活用の推進

【担当課】図書館

【関連課】

令和5年度の事業内容	○図書紹介ポップ展示の実施 ○調べ学習のための図書の貸出などの支援 ○市図書館ウェブサイト及びメールマガジンによる読書情報の充実 ○読書啓発パンフレット(ブックリスト)等の発行		
目標(指標)	○メールマガジンの発信回数 50回		
取組実績	○図書紹介ポップ展示 1回 ○調べ学習のための学校への図書の貸出 18回、493冊 ○市内幼稚園・保育園等団体への貸出 61回、2,532冊 ○メールマガジンの発信回数(毎週金曜日) 50回(登録者数143人(前年度比+15人)) ○「月刊NewBook」の発行 12回 ○「みどりのまど」(児童向け図書紹介パンフレット) 2回 ○「ヤングスクラッチ」(YA向け図書紹介パンフレット) 2回		
成果・効果	図書紹介ポップは、「YAボランティア体験」事業の一環として、参加者による展示の一部として作成した。体験の成果を発表することで図書館活動の理解の一端となった。 調べ学習のための貸出については、季節的、専門的な図書を貸し出すことによって、授業に役立てることができた。 団体貸出については、多くの図書に多くの子供たちが触れることができ、本への親近感を深めることができた。 メールマガジンは、旬な情報やイベント情報をいち早く発信することで、図書館利用者の利便を図ることができた。 「月刊NewBook」「みどりのまど」「ヤングスクラッチ」は、必要な情報を必要な方へ届けることができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	図書館からの情報発信については、図書館システムの更改を控え、LINE連携などのICTの活用など図書館DXを進めていく。あわせて、メールマガジンの登録者数増のために登録につながる二次元コード記載のあるチラシ等の配布を進めていく。		

実施事業

「家読(うちどく)」事業等の実施

【担当課】図書館

【関連課】子育て相談課

令和5年度 事業内容	○「家読(うちどく)」の推進 ○ブックスタート事業の実施(絵本の配布・啓発、セカンドブックスタート(啓発))		
目標(指標)	○家読(うちどく)啓発パンフレットの作成・配布 100部		
取組実績	○家読啓発パンフレットの作成・配布 200部 ○家読セットの増(3年代3セット＝全9セット→3年代10セット＝30セット) ○ブックスタート ・乳児への絵本の配布 289冊(子育て相談課事業) ・BCG接種時の絵本利用案内パンフレット(「ブックスタートセット」)の配布 410部 ・BCG接種時の絵本読み聞かせ指導 177組(BCG接種来場組数) ○セカンドブックスタート ・幼児期を対象とした読み聞かせ啓発パンフレットの配布 462部 ・令和5年度から幼稚園・保育園を通じて配布		
成果・効果	家庭における読書環境の整備・向上を図ることにより、保護者に対し啓発することができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	一連のブックスタート事業に関しては、読書の習慣化に有効であるため、今後も継続して実施していく。 家読事業については、セットにアンケートを入れるなど利用者の声を収集して、さらなる利用促進を図っていく。		

実施事業

学校と連携した読書活動への支援

【担当課】図書館

【関連課】学校教育課

令和5年度 事業内容	○学校おはなし会やブックトーク等の実施 ○学校図書館システムを活用した情報連携 ○学校での市図書館所蔵資料返却の試行		
目標（指標）	○おはなし会などでの学校への出張回数 20回 ○返却試行の学校図書館実施校 2校		
取組実績	○学校おはなし会・ブックトークの実施 71回 ○返却用ブックポストの設置による市図書館収蔵資料返却の試行 ・実施期間：令和5年10月1日～令和6年3月31日 ・試行実施校：羽村東小学校…毎週金曜日回収 回収冊数24冊 羽村第三中学校…毎週水曜日回収 回収冊数27冊		
成果・効果	学校での読み聞かせ・ブックトークに関しては、各校のニーズが高く、子供たちも意欲的に参加することができた。 返却用ブックポストの設置と運用に関しては、当初の目標どおり2校に設置し試行運用を開始することができたが、利用実績が低調だった。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	学校での読み聞かせ・ブックトークに関しては、今後学級数の減少が懸念されるため、「目標（指標）」の設定を検討する必要がある。 返却用ブックポストの利用については、当初の見込み（各校10冊×6か月＝60冊程度）を下回る結果となったため、全校への展開の前に、そもそもの市図書館で本を借りるスキームを構築して、貸出と返却をセットで実施できる方策を検討する。		

実施事業

国際理解や多文化共生に関する講座等の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○国際理解講座 1事業 ○交流事業 1事業		
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○国際理解講座・ゆとりぎ国際理解講座「実は知らない日本とトルコの深い絆～親日国トルコを知ろう～」の実施 ・開催日 令和6年1月20日 ・参加者数 44人/定員50人 ・参加者の満足度 80% ○交流事業・子ども国際交流音楽祭の開催（ウイーン音楽家による指導と共演） 羽村第二中学校 吹奏楽部35人への指導 （令和5年10月10日 同中学校） 羽村市・奥多摩町・檜原村及び他市の児童による合唱団31人との共演 （令和5年10月9日 ゆとりぎ大ホール） ・参加者の満足度 91%		
成果・効果	両事業の実施により市民の国際理解を高める機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	国際交流音楽祭は鑑賞者が減少しているため、内容等について検討していく。また、音楽祭に参加（来場）した方のアンケートは実施したが、合唱に参加した児童・生徒のアンケートは実施できなかったため、今後実施していく。		

実施事業

高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○中高年向け講座の実施 3事業		
目標（指標）	○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○中高年向け講座の実施 3事業 ①ゆとりぎ文学講座 参加者数11人/申込者数13人/定員50人 満足度70% ②ゆとりぎ近・現代史講座 参加者数29人/申込者数31人/定員40人 満足度82% ③ゆとりぎ先端テクノロジー講座 参加者数34人/申込者数50人/定員50人 満足度84%		
成果・効果	ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、中高年向け講座を実施することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、中高年向け講座を実施を行っていく。		

実施事業

健康に関する講座等の実施

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】健康課

令和5年度の 事業内容	○体力測定の実施 ○健康づくり教室の実施		
目標（指標）	○体力測定の実施 4回 ○健康づくり教室の実施 1回		
取組実績	○体力測定の実施 4回 令和5年6月10日 参加者数18人/定員20人 8月19日 参加者数11人/定員20人 12月16日 参加者数10人/定員20人 令和6年2月10日 参加者数16人/定員20人 参加者数計55人(20歳～59歳/16人、60歳～79歳/39人) ○健康づくり教室(楽しく筋トレ！健幸運動教室)の実施 1回 令和5年11月3日～12月22日 参加者数16人(延べ112人)/定員20人		
成果・効果	体力測定は高齢者の参加者が多く、健康づくり教室は中高年の参加者が多いなど、様々な年齢層に健康に関する学習機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。		

実施事業

青年学級事業の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○青年学級の実施 12回		
目標（指標）	○登録会員の50%以上の参加（各回）※現会員9人		
取組実績	○青年学級の実施 12回（令和5年4月23日、5月21日、6月25日、7月23日、8月20日、9月24日、10月8日、11月19日、12月17日、令和6年1月28日、2月25日、3月17日） ○登録者数10人（新規登録者 1人増） ○参加率 90.8% ○主な活動内容 農業体験（植え付け・収穫）、スポーツ・レクリエーション（ボウリング、フォークダンス、リトミック等）、創作（書道）、遠足		
成果・効果	ボランティアや地域の方の協力を得て、障害のある方の学びの提供として青年学級を開催し、様々な体験機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、ボランティアや地域の方の協力を得ながら、青年学級を実施していく。		

実施事業

文化団体の活動支援

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度 事業内容	○羽村市文化協会の活動支援 ○ゆとりぎ協働事業運営市民の会の活動支援 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援		
目標（指標）	○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 314日		
取組実績	○羽村市文化協会の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 ○ゆとりぎ協働事業運営市民の会の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 社会教育関係団体等の施設利用件数 1,261件 ○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 314日		
成果・効果	施設使用の優先予約や施設使用料の減免を行い、安価で安心して活動できる場所やイベントでPRする機会を提供することにより、団体活動を支援することができた。 また、社会教育関係団体や羽村市文化協会加盟団体について、団体・サークルガイドによりPRを行った。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、会員数の減少や高齢化などの課題に対応できるよう、継続して実施していく。		

実施事業

スポーツ団体の活動支援	
-------------	--

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和5年度 事業内容	○羽村市体育協会の活動支援 ○はむら総合型スポーツクラブはむすぽの活動支援 ○社会教育関係団体、その他のスポーツ団体の活動支援		
目標（指標）	○スポーツセンター開館日数 314日		
取組実績	○羽村市体育協会の活動支援 施設使用の優先予約、施設使用料の減免 ○はむら総合型スポーツクラブはむすぽの活動支援 施設使用の優先予約、施設使用料の減免 ○社会教育関係団体、その他のスポーツ団体の活動支援 施設使用の優先予約、施設使用料の減免 社会教育関係団体等のスポーツセンター利用申請件数 1,335件 ○スポーツセンター開館日数 314日		
成果・効果	施設使用の優先予約や施設使用料の減免を行い、安価で安心して活動できる場所やイベントでPRする機会を提供することにより、団体活動を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、会員数の減少や高齢化などの課題に対応できるよう、継続して実施していく。		

実施事業

団体への補助金の交付

【担当課】生涯学習推進課、スポーツ推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○文化・スポーツ団体や市民活動団体等へ補助金を交付する。		
目標（指標）	○社会教育関係団体への補助金の交付 ○羽村市文化協会への補助金の交付 ○羽村市体育協会への補助金の交付		
取組実績	○社会教育関係団体への補助金の交付 ・文化・学習団体 3団体 交付額56,000円(3団体合計) ・スポーツ・レクリエーション団体 7団体 交付額140,000円(7団体合計) ○羽村市文化協会(加盟団体数97)への補助金の交付 交付額571,000円 ○羽村市体育協会への補助金の交付 交付額750,000円		
成果・効果	補助金を交付することにより、財政面から団体の活動を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	継続して支援していく。		

実施事業

団体等の活動情報の収集・提供

【担当課】地域振興課、生涯学習推進課

【関連課】スポーツ推進課

令和5年度の 事業内容	○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行（年1回）・配布		
目標（指標）	○市内公共機関等150部配布		
取組実績	○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行（年1回）・配布 市内公共施設（市役所1階受付、プリモホールゆとりぎ、S&Dスポーツアリーナ羽村、コミュニティセンター等）で、全150部配布		
成果・効果	社会教育関係団体や市民活動団体の活動情報を市民に提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	見やすい、探しやすいガイドとなるよう、レイアウトや目次等、ガイドブックの改善について、検討していく。 また、市公式サイトからの閲覧を促進する広報周知について検討していく。		

実施事業

団体等の情報発信支援

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○学習文化情報コーナーの運用		
目標（指標）	○生涯学習センターゆとろぎ開館日数 314日		
取組実績	○開館日数(学習文化情報コーナーの運用日数) 314日 ○学習文化情報コーナーの運用 社会教育関係団体等の市内団体の生涯学習に関する情報を掲示 情報発信場所の提供 82件		
成果・効果	ゆとろぎ館内の学習文化情報コーナーに、社会教育関係団体等の市内団体の生涯学習に関する情報を掲示し、市民に生涯学習のきっかけを提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、社会教育関係団体等の情報を掲示し、市民に生涯学習のきっかけを提供する。		

実施事業

生涯学習関連情報の発信

【担当課】生涯学習総務課

【関連課】

令和5年度 の 事業 内容	○「はむらの教育」の発行		
目 標（指 標）	○6回発行		
取 組 実 績	○年6回、奇数月1日に発行し、市内全戸に配布した。 発行部数 計159,300部/年 ○掲載内容の充実を図ることを目的として、市民感想・意見を募集した。（9月1日号）		
成 果 ・ 効 果	○羽村市の学校教育及び生涯学習に関する情報を、市民に向けて定期的に発信することができた。		
評 価（達 成 度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課 題 ・ 対 応	A	—	未実施
		学校教育や生涯学習等に関する情報を広く市民に向けて発信し、学校教育への理解を深めるとともに、生涯学習等の文化芸術活動の普及啓発等を図るため、写真、作品や資料等を効果的に掲載し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めていく。	
		また、教育広報誌「はむらの教育」の市民ニーズ（需要）を確認する方法等について、研究していく。	

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度 の 事業 内容	○ゆとりぎイベントガイド発行 ○はむらまなび便り発行 ○ゆとりぎホームページの更新（随時）		
目 標（指 標）	○ゆとりぎイベントガイド 6回発行 ○はむらまなび便り 4回発行		
取 組 実 績	○ゆとりぎイベントガイド発行 6回 ○はむらまなび便り発行 4回 ○ゆとりぎホームページの更新		
成 果 ・ 効 果	ゆとりぎイベントガイド、はむらまなび便りを発行し、市民に生涯学習の情報を提供することができた。		
評 価（達 成 度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課 題 ・ 対 応	A	—	未実施
		引き続き、ゆとりぎイベントガイド、はむらまなび便りを発行し、市民に生涯学習の情報を提供していく。	

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	〇はむら市スポーツ推進委員だよりの発行		
目標（指標）	〇2回発行		
取組実績	〇2回発行（A4カラー両面） 第75号発行（令和5年10月30日）1,300部 第76号発行（令和6年3月1日）1,300部 町内会自治会回覧用を配布、市公式サイトに掲載		
成果・効果	市民に、スポーツ推進委員の活動等についての情報を発信することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		多くの市民にご覧いただけるよう配布先や閲覧方法を検討し、年2回発行を継続していく。	

No.52

実施事業

生涯学習まちづくり出前講座の活用促進	
--------------------	--

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	〇出前講座メニューを掲載した案内の発行 1回 〇「はむらの教育」への紹介記事掲載 1回		
目標（指標）	〇出前講座の利用回数 12回		
取組実績	〇出前講座メニューを掲載した案内の発行 1回 〇「はむらの教育」への紹介記事掲載 1回 〇町内会・自治会等への「出前講座メニュー」の配布 1回 〇出前講座の利用回数 14回 〇主な出前講座メニュー 「あなたの身体を見える化しよう」「みんなで続ける介護予防体操」「風水害」		
成果・効果	出前講座について、利用の促進を図り、目標を上回る利用につなげることができた。 市民の団体が主催する学習会などに、市職員や官公署等の職員が講師として出向き、行財政運営や子育て、健康に関することなどの講座を行うことができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		引き続き、関連部署や官公署と連携し、出前講座を実施していく。また、効果的な事業の広報周知について検討していく。	

実施事業

企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施	
-------------------------------	--

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○杏林大学、国立音楽大学、財団、企業との連携事業の実施		
目標（指標）	○10事業以上実施		
取組実績	○杏林大学、国立音楽大学、公益財団法人青梅佐藤財団、日野自動車株式会社等企業との連携事業の実施 10事業 「杏林大学学生連携企画 散歩の達人直伝！！あなたの日常をちょっぴり変える、地元お散歩講座！」 「杏林大学公開講演会 今学びたい『気持ちを伝える』コミュニケーション～SNSの上手な使い方」 「国立音楽大学コンサート」 「国立音楽大学オーケストラ演奏会」 「国立音楽大学プラスオルケスタ演奏会」 「高橋多佳子ピアノ演奏会」 「子どもIT未来塾」 「日野自動車連携講座『ペットボトルロケット』」 「わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇」 「羽村ゆとりぎアーツプロジェクト（武蔵野美術大学連携）」		
成果・効果	包括連携協定を締結している杏林大学、国立音楽大学、またゆとりぎでの事業に協力いただいている公益財団法人青梅佐藤財団や日野自動車等と連携して、音楽鑑賞、講演、子供向け体験事業を実施することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、杏林大学、国立音楽大学、財団、企業との連携した事業を実施していく。		

実施事業

生涯学習コーディネート機能の運用

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和5年度の事業内容	○生涯学習に関する相談の対応(コーディネート) ○生涯学習に関する情報収集・提供		
目標(指標)	○相談への対応 ○生涯学習情報の更新(随時)		
取組実績	○生涯学習コーディネーターの配置 ○生涯学習に関する相談の対応(コーディネート) 主な相談内容…市民が企画する学習講座の講師提案や調整など ○生涯学習に関する情報収集・提供 団体・サークルガイドの発行、市公式サイトへの掲載		
成果・効果	団体・サークルガイドを発行し、市民に生涯学習に関する情報を提供することができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、団体・サークルガイドを作成し、市民に生涯学習のきっかけを提供する。		

実施事業

学校施設の計画的な改修工事の実施

【担当課】生涯学習総務課

【関連課】建築課

令和5年度の 事業内容	○羽村市学校施設長寿命化計画の推進 ・小学校防音機能復旧(機器取替)工事(富士見小(1期)) ・小学校トイレ改修工事 (羽村東小(東側、増築棟)、羽村西小(A棟)) ・小学校体育館屋上防水改修工事(羽村西小)		
目標(指標)	学校施設の適正な維持管理のため、改修等工事を実施		
取組実績	・小学校防音機能復旧(機器取替)工事(富士見小(I期)) 富士見小学校旧校舎棟の空調改修(機器取替)工事を実施した。 2学期始業日(8月28日(月))までに空調機器を稼働できるよう工事を進めてきたが、8月25日(金)に実施した機器の稼働検査において機器が安定的に稼働できないことが確認された。近年の猛暑の状況から校舎の空調機器を稼働しないまま授業を実施することは困難であると判断し、8月28日(月)の始業式を生涯学習センターゆとろぎで実施し、8月29日(火)から9月1日(金)の4日間を臨時休校として対応した。 ・小学校トイレ改修工事(羽村東小(I期)) 羽村東小学校の東系統及び増築棟系統のトイレ改修工事を実施した。 ・小学校トイレ改修工事(羽村西小(I期)) 羽村西小学校のA棟系統のトイレ改修工事を実施した。 ・小学校体育館屋上防水工事(羽村西小) 羽村西小学校の体育館の屋上防水工事を実施した。		
成果・効果	学校施設の改修工事を実施することで、児童の教育環境の改善と災害時避難所としての機能強化を図ることができた。 また、富士見小学校における防音機能復旧(機器取替)工事においては、学校運営に影響を及ぼす事態となった。		
評価(達成度)	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	関係部署、工事契約業者等と密な連携を取り、工事の進捗管理を徹底する。 また、小・中学校全校は、老朽化が進行していることから、今後も国庫補助金や東京都補助金といった特定財源を活用した計画的な改修により学校施設の環境改善を図り、適正な維持管理に努めていく。		

実施事業

公共施設予約システムの更改

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】地域振興課、土木課、スポーツ推進課

令和5年度の 事業内容	○キャッシュレス機能追加(オンラインで手続きを完結)		
目標(指標)	○12月稼働		
取組実績	○公共施設予約システムを更改し、12月から運用を開始 新たな機能としてキャッシュレス決済ができるシステムを導入 生涯学習センターゆとりぎ取扱件数12件/4ヵ月(12月～3月) スポーツセンター取扱件数17件/4ヵ月(12月～3月)		
成果・効果	公共施設予約システムの更改に合わせ、キャッシュレス決済ができるシステムを導入し、オンラインで予約手続きを完結できるようにした。 全額免除団体についても、支払い手続きが不要のため、オンラインで予約手続きが完結できることにより、窓口手続きの簡素化を図ることができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	オンライン予約の承認手続きを即日対応する必要があるため、効率的な対応方法について検討するなど、更改した公共施設予約システムを運用していく。		

実施事業

スポーツセンターの管理運営方法の検討	
--------------------	--

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】企画政策課

令和5年度 事業内容	○スポーツセンターの管理運営について、民間事業者等有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的として、指定管理者制度の導入を検討する。		
目標（指標）	○スポーツセンターへの指定管理者制度導入の検討		
取組実績	○近隣自治体における管理運営方法の調査・研究 ○スポーツ推進審議会から意見等の聴取 審議会3回 ○指定管理者制度を導入した場合の課題等の解決について検討し、メリット・懸念を共有		
成果・効果	東京都内のスポーツ施設における導入状況を把握し、調査研究の資料にすることができた。 「導入した場合のメリットの方が多い」というスポーツ推進審議会からの意見を踏まえ、導入に向けた検討を進めることができた。 課題等について考え方を整理し、共有することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	指定管理者制度への移行にあたり、雨漏りなどの施設改修をする必要があるなど、課題解決に向けて継続して検討していく。		

実施事業

弓道場用地の取得

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和5年度の 事業内容	○NEXCO東日本との売買契約に基づく弓道場用地の取得		
目標（指標）	○売買代金支払い ○所有権移転登記、引渡し		
取組実績	○売買代金支払い 令和5年9月27日 ○所有権移転登記、引渡し 令和5年11月7日 NEXCO東日本との契約に基づき、弓道場用地を取得		
成果・効果	市民のスポーツの普及振興を図るため、弓道場用地を取得したことにより、良好な環境で安全安心にスポーツ活動ができるよう、施設の適正管理に努めることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	弓道場施設の老朽化が進んでいるため、必要に応じた改修や補修について、検討していく。		

4 点検・評価に関する学識経験者からの意見

相 原 雄 三 （明星大学教育学部教育学科 特任教授）

今回の羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の対象となる事業は、令和5年度に実施された58の主な事務事業です。令和5年度の主な事務事業は、令和4年度の55事業より3件増えておりますが、自己評価Aが51事業、自己評価Bが6事業、自己評価Cが1事業となっており、全体的に見て事務事業が計画通りに展開されたことと考えられます。

ここでは、羽村市教育委員会の教育目標の実現を図るために定められた4つの基本方針に則って実施されたいくつかの事業について意見を述べます。

1 子供たちの育成

No. 1 子育て関係講座等の充実（家庭教育セミナーの実施）

子供の教育の第一義的責任がある家庭を対象に、子供が自立的に学ぶようになるための処方箋を保護者が考えていけるようなテーマを設定し、セミナーを開催したことは大変意義あることです。今後も、同様のテーマを設定して、家庭への啓発を図っていくことを期待しています。

令和4年度の参加者の満足度が72%であったことに対して、令和5年度の参加者の満足度が98%であったという結果は、そのテーマ・内容が参加者のニーズに合ったものであったと考えられます。その一方で、令和5年度の取組実績は、参加率が41%で前年度よりも17ポイント減少していることから、参加申込者をどのように増やしていくかという取組が求められると考えます。例えば、「子育て講座」や「就学時健診」などの取組とも連携して、本セミナーの周知・案内をしたり、オンライン配信にて視聴できるような環境を設けたりするなどして、幼児期から学童期の子供をもつ保護者を対象に、参加についての啓発を図る取組の工夫を期待します。

No. 2 家庭教育関連情報の提供と啓発（就学時健診での「家庭教育はじめの一步」の配布、市公式サイトでの周知）

家庭教育のポイントをまとめた冊子を各小学校で行われる「就学時健診」のときに配布するだけでなく、この冊子に二次元コードを掲載して、保護者が「いつでも、どこでも活用できる」ような機能性をもたせるように改善したことは素晴らしいです。今後は、この二次元コードを使ってのアクセスがどの程度行われているのかということも把握できるようにして、「活用の頻度」という視点からも本事業の成果を検証していただきたいです。

No. 3 小中一貫教育の推進（義務教育9年間の教科等のカリキュラムの研究・開発）

2020年（令和2年度）～2024年（令和6年度）年度までを計画期間とした『第3次羽村市小中一貫教育基本計画』を踏まえ、令和5年度に義務教育9年間を通した各教科等のカリキュラムの在り方をまとめる取組を行い、その評価（達成度）がA評価であることから、内容的にも優れた成果物ができたと推察します。

今後は、研究内容を全校で生かす取組として、各小・中学校が教育委員会に作成・提出する「届出教育課程」の「指導の重点」といった項目の中で、「小・中一貫教育」の視点からの指導の具体を明記させるなどして、各学校における実践的な指導の展開につなげ

ていくような取組の工夫を期待します。

No. 6 ICT 機器を活用した教育の推進（ICT 機器の活用による多様な子供たちの個別最適化した学習の取組）

令和4年度に、GIGA スクールサポーターや ICT 支援員の配置と一人一台端末の配備、「学習支援ドリル」のアプリの導入など、個別最適化した学びを行うに当たっての環境を整備することができました。次の段階としては、各学校において「学習支援ドリル」を活用した学びがどの程度行われているのか、また、「学習支援ドリル」の効果的な活用の取組としてどのような事例があるのかなどを把握するとともに、市内の小・中学校でそれらの事例を共有して、児童・生徒の学習の進捗や理解度に応じた学びの充実を図っていくような取組の工夫を期待します。

No. 7 スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の試行実施（スイミングセンターでの水泳授業の試行及び専門の指導員による水泳指導の実施）

児童の泳力の向上、天候に左右されない定期的な授業の実施、教員の負担軽減、専門的な地域資源の活用、学校施設の老朽化への対応などの観点から、市内のスイミングセンターを活用した小学校の水泳授業の試行実施に取り組まれたことは新規事業の展開として注目されることだと考えます。

今後は、市内の他の小学校においても実施が可能かについて検討していただき、特に児童の泳力の向上の観点から事業の評価に取り組んでいただくとともに、児童の安全管理の主たる義務を負う教員の指導体制とそのマニュアルの確立に着手していくことを期待します。

No. 9 部活動の推進（部活動の地域連携）

中学校の部活動について、東京都では、国のガイドラインを踏まえ、「令和7年度末までに、都内全ての公立中学校等で、地域連携・地域移行に向けた取組の推進や、休日に教員が部活動に携わる必要のない環境の構築」を推進目標として示しました。この目標の実現に向けて、令和5年度中に、「地域移行」の観点から、中学校部活動の受け入れ可能な団体を集約できたことは素晴らしいです。

今後は、部活動の試行に向けて、受け入れ先となる候補団体と活動内容や活動日時、受け入れ人数、参加に必要な費用等について話し合い具体化していくことを期待します。また、その内容について、学校、保護者、児童・生徒に説明できるように準備していくことも視野に入れて進めていただきたいと思います。また、部活動の取組がこれまでのやり方とは変わろうとしていることについて、市報等を通じて、市民に丁寧に情報提供していくことも必要であると考えます。

No. 13 教育相談体制の充実（生活アンケートの分析・活用）

児童・生徒の不登校等の未然防止・早期対応を図るために、児童・生徒に配備された一人一台端末を活用して「心のアンケート」を実施したものの、アンケート結果を年度内に学校へ提供できず、翌年度の提供となってしまったことから、評価（達成度）を「C」としています。

市内の全児童・生徒の「心のアンケート」を教育相談室の限られた心理士だけで把握し、精緻な分析を行って、学校へフィードバックしていくことを短い期間で対応することが難しい場合は、外部に委託にすることや学校が第一次的な把握を行うなどの方法を検討して

いく必要があると考えます。また、対応を要する児童・生徒を早期に発見し、関係機関につないでいけるようなシステムの再構築も期待します。

2 地域資源の活用

No. 19 地域学校協働本部の活用（地域コーディネーターと活動推進委員の活用）

コミュニティスクールの全校導入に伴い、中学校区に地域コーディネーターが3人、活動推進委員が2校に配置され、その体制整備ができたと考えます。今後は、各校がコミュニティスクールとしての機能を発揮させるためにも、コーディネーターが学校のニーズを具体的に把握し、地域の人材発掘・活用に向けたコーディネートをどのように行っていくかが重要になってきます。また、各学校においては、教育課程において地域資源を活用した教育活動を計画的に行っていくことを具体化していく必要があります。

そのため、各小・中学校が教育委員会に作成・提出する「届出教育課程」の「指導の重点」といった項目の中で、「地域の資源の活用」という視点からの指導の具体を明記させるなどして、各学校における実践的な指導の展開を明らかにさせるとともに、コーディネーターや活動推進委員、学校関係者等が情報交換を行いながら活動の成果や課題を共有していく機会を教育委員会主導で行い、その活用の推進に努めていくような取組の工夫を期待します。

No. 25 展示説明員の育成（玉川上水の歴史と役割について展示説明、展示説明員の能力向上）

玉川上水は、国指定の文化財として大変貴重な遺跡であり、第4学年の社会科の内容「地域の発展に尽くした先人の働き」を学習する際に、都内の学校では、「玉川上水と玉川兄弟」を教材として扱う場合が多いことから、郷土博物館にもその学習の一環として訪れていることが伺われます。令和5年度の取組実績では、111校が訪れていますが、令和4年度の取組実績と比較すると、18校の減少という結果になっています。

今後、来館校数が減少していくことも考えられるため、展示説明員が東京都小学校長会や東京都小学校社会科教育研究会の会合に出向いて、郷土博物館を社会科見学等で活用していくことを働きかけていっていただきたいと思います。

3 多様な学習の展開

No. 30 活動成果の発表機会の提供（「文化祭の実施」「HAMURA メリーリボン演劇祭の実施」）

文化の息吹と市民の自己実現の創出ができるまちづくりにつながる事業として、「羽村市文化祭」や「HAMURA メリーリボン演劇祭」は実施回数を積み重ねながら、市民はもちろんのこと、西多摩エリアでも知名度が上がってきた事業であると考えます。事業の評価（達成度）は「B」となっていますが、令和5年度の実績では、「羽村市文化祭」の来場者数延べ15157人で、令和4年度より3222人の増、「HAMURA メリーリボン演劇祭」の来場者数延べ1567人で、令和4年度より136人の増となっており、来場者が増加していることは素晴らしいです。

今後は、「HAMURA メリーリボン演劇祭」をモデルに、これまで培った市民力を生かしながら、新たに「音楽祭」や「映画祭」などを開催するなどして、文化の息吹と市民の自己実現の創出ができるまちづくりにつながる“うねり”が生まれることを期待します。

No. 40 家読（うちどく）事業等の実施（「家読（うちどく）」の推進」「ブックスタート事業の推進」

ブックスタート事業は、絵本を通して、親子が言葉と心を通わすかけがえのないひとときをもつことを応援する事業です。令和4年度の事業の評価（達成度）は「C」でしたが、令和5年度の事業の評価（達成度）は「A」と大きく改善されたことは喜ばしいことです。

また、令和5年度の取組実績を見ると、「家読啓発パンフレットの作成・配布」「家読セットの増」「幼児期を対象にした読み聞かせ啓発パンフレットの配布」など、家読事業の理解啓発を図るための取組が具体的に行われたことが分かります。

今後は、「課題・対応」にあるように、家読事業についての利用者の声を収集する取組を工夫しながら、「家読セットの利用の頻度」という視点からも本事業の成果を検証していただきたいと思います。

4 生涯学習の支援

No. 52 生涯学習まちづくり出前講座の活用促進（「出前講座メニューの案内の発行」「はむらの教育への紹介記事掲載」）

市民のまちづくりへの関心を高め、社会参画意識を育てていくためにも、関連部署や官公署と連携して専門的な知識をもつ職員を派遣し市民主催の学習会で講演するなどの取組を充実させていくことは大切なことです。令和4年度の事業の評価（達成度）は「B」でしたが、令和5年度の事業の評価（達成度）は「A」に改善にしました。また、令和5年度の取組実績を見ると、「出前講座メニューを掲載した案内の発行」や『「はむらの教育」への紹介記事の掲載』に加えて、「町内会・自治会等への『出前講座メニュー』の配布」といった取組を行うなど、市民への広報周知の方法の工夫が見られました。

今後も、町内会・自治会の他にも学校の教育活動やPTA活動での活用など、活用を促す方法を模索しながら利用回数が伸びるようにするための取組を行っていただくことを期待しています。

次に、事務事業の成果や課題を明らかにして、今後の対応の方向性を考えていく際に留意していただきたいことを述べます。

令和4年度と令和5年度の報告書の内容を比較する中で、「成果・課題」に書かれている内容が事務事業を改善する方向性が具体的に書かれているものがあります。例えば、No. 49「団体等の活用情報の収集・提供」について、令和4年度の「成果・課題」では、「見やすい、探しやすいガイドとなるよう、レイアウトや目次等、ガイドブックの改善について検討し、今後も情報発信を継続していく」と書かれています。一方、令和5年度の「成果・課題」では、先の内容に加えて「市公式サイトからの閲覧を促進する広報周知について検討していく」と書かれてあり、ガイドブックを市民に周知するための具体的な働きかけの方向性が書かれています。このように、課題を明確にして改善への取組を実現可能な視点から考え、具体化していくことに力を注ぐことで、市民の信託に応える「事務事業の点検及び評価」につながることを認識し、今後も改善の方向性を具体化していく取組をお願いします。

また、昨年度も意見したように、事務事業の評価（達成度）に関わる「目標（指標）」の設定の仕方についても改めて留意していただきたいことを述べます。

例えば、No. 6の「ICT機器を活用した教育の推進」の目標（指標）が「GIGAスクールサ

ポーターの配置 1人」「ICT 支援員の配置 2人」となっており、これらの人材配置ができたことで評価（達成度）が「A」となっています。これは、人材配置ができたかどうかという視点から目標（指標）を設定していますが、大切なことは、これらの人材が授業支援や運用アドバイスをどの程度行っているのか、また、その取組によって ICT 機器を活用した教育がどの程度推進されているのかということ为目标（指標）に据えていくことだと考えます。引き続き、事業の成果や効果といったことを評価する目標（指標）の設定の仕方についても検討していきましょう。

八 木 橋 宏 勇 （杏林大学外国語学部 教授）

本点検及び評価の対象となる事業は、令和5年度に実施された58の事務事業です。令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症（2類相当）」から「5類」へと変更され、約3年にわたって課されて来た行動制限が撤廃されました。ポストコロナ元年となった令和5年度は、感染リスクへの配慮を継続しつつ58事業が積極的に展開されました。新型コロナウイルス感染症が猖獗を極めていた令和3年度は41事業、ポストコロナへの移行を模索していた令和4年度は55事業でしたから、羽村市教育委員会の教育施策は順調に復調してきたと言えます。

令和5年度の本報告書には、羽村市教育委員会「教育目標」を実現するため、「羽村市教育委員会の基本方針」を基に定められた4つの「基本施策」が方向性1・2・3・4として掲げられています。それぞれの事業はおおむね順調に展開されており、総じていえば大いに評価されるべき成果を上げていると思われます。以下、今後の事業展開および点検・評価を見据え、4つの方向性ごとにいくつかの事務事業について意見を述べます。

1 子どもたちの育成

No. 1 子育て関係講座等の充実

この事業では「家庭教育セミナー（子育て講座）」が実施され、定員180人に対し参加者は74人でした。参加者の満足度が98%と（前年度の72%から）大きな改善が見られたことは高く評価されるべきことだと考えます。主たる要因は、テーマ設定や事業内容が目的とニーズに合致するものであったからだと推察いたします。しかしながら、対象となる保護者が参加しやすい開催時期・曜日に見直して実施したにもかかわらず、参加率は前年度（58%）に比して41%と大きく落ち込んだことから、実施形態まで含めた再検討が必要であると思われます。たとえば、オンライン配信を導入することは、事業対象者の利便性に配慮した手段であり、空間的・時間的制約を大幅に緩和させることができるため、参加のしやすさをさらに追求できるものと考えます。

No. 2 家庭教育関連情報の提供と啓発

本事業は、保護者に対して家庭教育に関する情報を提供することを目的に、就学児健診で「家庭教育ははじめの一步」を配布および市公式サイトでの周知が行われました。今回から二次元コードが付され、事業対象者がスマートフォンでも容易にアクセス・閲覧できるようになったことは高く評価できます。本事業での成果を他の事業にも有機的に波及させられるように、アクセス数など詳細を精査し、さらなる利便性の向上に努めていただければと期待いたします。

No. 6 ICT機器を活用した教育の推進

仮想空間と現実空間を融合させた学習は、現代的な学びの特徴の一つであり、世界各地でICT機器を活用した様々な実践例が蓄積されてきています。本事業で掲げられた目標（GIGAスクールサポーター1名とICT支援員1名の配置）は達成され、評価は「A」となっていますが、これは「ICT機器を活用した教育」においては整備の段階であり、教育目標の達成に資する施策とするには、教育効果を高める取り組みにステージを移していく必要があると思料します。ICT機器を活用し、どのような教育を行っていくのか、そして

いかにして教育目標の達成を図るのか、より具体的な目標の設置が求められると思われます。

2 地域資源の活用

No. 15 市内事業所等と協力した社会体験事業の実施

本事業は、市内事業者の協力のもと、「わが街羽村を知るシリーズ 出前講座篇」として実施されました。定員に対する申込者／参加者の割合は96.6%、満足度は87%に達し「A」評価となっています。社会体験事業は市内でありながらも非日常的な世界が垣間見られることから、定員充足の面からも、参加者の満足度の面からも、毎年大変高い水準を維持する人気講座です。また、このような事業は単発的に実施されることが多いように思われますが、本講座は「市内事業者を知ることから地域雇用につなげていく」ことも企図されているなど、地域資源の活用と雇用がリンクされており、分野横断的な取り組みとして継続的な実施が期待されます。

No. 23 文化財に関する情報提供

文化財説明版の作成、『羽村市郷土博物館紀要』の発行、「東京文化財ウィーク」「多摩郷土誌フェア」への参加、郷土博物館公式X等を通して、市内の文化財に関する情報発信が積極的に行われました。特筆すべきは、郷土博物館公式Xのフォローが、目標数500件に対して1,000件（3月末時点）にまで急増したことです。SNSの活用は郷土博物館の取り組みを市の内外に広く周知させられる現代的な手法であり、継続的かつ安定的に情報が発信されることが望まれます。一方で、「課題・対応」として挙げられているように、『羽村市郷土博物館紀要』の電子化は、リポジトリ化を検討して良い時期だと思われます。令和4年度の報告書でも申し上げましたが、引き継ぐべきことは引き継ぎながらも、持続的な郷土研究およびその成果の発信に向け、時代の流れに即した検討を重ね、課題克服を目指していただければと思います。

3 多様な学習の展開

No. 31 子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供

本事業は、児童館における子どもの運動能力の向上を促す遊びの機会の充実化を企図し、児童館への指導員（スポーツ推進委員）派遣が3回実施されました。行われたのは、パラリンピック競技種目の「ボッチャ」、ニュースポーツの「ラダーゲッター」「モルック」であり、これらは一般的に知られているとは必ずしも言えません。各回ともに定員は満たされていないものの、「豊かな個性」と「創造力」の伸長、「多様な学習の展開」に資する取り組みであることから、継続実施が望まれます。真新しいことに関心を持ってもらうには、動機づけをいかに喚起できるかが重要なポイントとなります。イベントとして開催情報を周知させるだけではなく、実施内容そのものの関心を掘り起こす取り組みも求められていると考えます。

No. 41 学校と連携した読書活動への支援

プリモライブラリーはむら（羽村市図書館）は、図書館資料活用の推進、読書活動の習慣化等を目指した取り組みを積極的に展開しており、これまでも注目に値するような成果

を数多く上げてきました。本事業は、学校および学校図書館と協働で読書への関心を高めようとする大変意欲的な取り組みであり、「学校おはなし会やブックトーク等の実施」「学校図書館システムを活用した情報連携」「学校での市図書館所蔵資料返却の試行」のいずれの取り組みも、中長期的な視座を持って継続的な実施が期待されるところです。とりわけ、市図書館と学校図書館のシステムを可能な限り統一することで利便性のさらなる追求が図られると考えられ、しかるべきタイミングでの実施を強く期待いたします。また、「返却用ブックポスト」の設置と運用に関しては、利用実績が低調であったとのことですが、「課題・対応」に記されているように、返却のみならず貸出においても空間的な制約を乗り越えられるような施策が必要であると思われます。システム環境が漸次整えられることで、学校と有機的に連携した読書活動はさらに活性化されるものと期待いたします。

4 生涯学習の支援

No. 52 生涯学習まちづくり出前講座の活用促進

まちづくり出前講座は、市役所編（行財政運営等、子ども・子育て、健康、スポーツ、生活・環境、福祉、教育・生涯学習、自然・歴史・文化）と官公署等編（警視庁福生警察署、東京消防庁福生消防署（羽村出張所）、羽村市地域包括支援センター、東京都行政書士会（多摩西部支部）、東京地方検察庁（立川支部）、青梅税務署、東京都金融広報委員会、関東財務局東京財務事務所（立川出張所）、東京都西多摩保健所、東京保護観察所（立川支部））のもとに多様な講座が用意されており、市や官公署等の職員が講師として出向く取り組みです。令和5年度の利用回数は14回で、令和4年度の9回を上回り、利用回数の面では目標を達成することができました。これは、本講座の持続的な広報が効果を上げていることの証左であると考えられます。今後は、当該年度の「前期／後期実施講座」といった期間の設定等により実施をさらに促したり、ホットトピックの追加や連携する大学等による講座提供などニーズに合ったコンテンツの整備を断続的に行ったりすることで、より魅力的な生涯学習の機会を幅広く提供でき、利用の活性化が図られるものと思われれます。

以上、4つの方向性の中から8つの事務事業を取り上げて意見を述べました。総じて、各事業は各所管による綿密な事業計画に則り、適正に実施されてきたと評価できます。一方で、令和4年度の報告書で指摘した以下の点については、いまなお改善の余地が残されていると感じられます。

本点検・評価の対象となっている事務事業は、いずれも羽村市教育委員会教育目標の達成に必要な取り組みであることは確かですが、「個々の事業が単発の取り組みに終始していないか」、「個々の事業が羽村市教育委員会の目標達成にどれほど寄与したか」を自律的に検証し、今後の施策に反映させていく仕組みの整備も重要であると考えられます。これにより、個々の事務事業がその範囲に留まることを回避し、他の事業と有機的に関連付けられることにより、その成果・効果が全体的な評価へと昇華させられることが期待されます。

（「令和5年度羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価（令和4年度分）報告書」、56頁）

とりわけ、各事業の達成度の評価にあたっては、参加者数や参加者の満足度、実施回数等、評価の判断を決しやすい数字が主たる基準となっていることが今なお多いと感じられました。事業内容そのものの質的評価には、各取り組みが上位目標、すなわち「教育目標」の達成にどれほど寄与しているかなど、(数字には表れにくい) 評価されるべき点、課題点・反省点等のあぶり出しが必要不可欠であり、それこそが中長期的な視座に立った安定的な事業展開に結びつくものと思料いたします。

令和5年度の意欲的かつ多様な取り組みを踏まえ、「教育目標」の達成を常に視座に据えながら、ポストコロナの時代に適応した事業が今後も積極的に展開され、質・量の両面から評価(達成度)をさらに高められますよう期待いたします。

5 教育委員会の活動の状況 教育委員会の審議事項等

区分（議：議案 協：協議 報：諸報告等）

会議名	開催日		審議事項等
令和5年第5回 教育委員会 (定例会)	令和5年4月18日	議 議 議 報 報 報	羽村市教育委員会会計年度任用職員の任用に関する規程の一部を改正する規程 羽村市立学校における学校運営協議会委員の任命について 羽村市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 羽村市教育委員会共催・後援申請事業について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和5年第6回 教育委員会 (定例会)	令和5年5月16日	議 議 議 報 報 報	令和5年度羽村市一般会計補正予算（第2号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に伴う有識者の選任について 羽村市特別支援教育就学支援委員会委員の委嘱及び任命について 令和6年度使用羽村市立小学校並びに羽村市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択事務について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和5年第7回 教育委員会 (定例会)	令和5年6月20日	議 議 議 議 報 報 報 報	令和5年度羽村市一般会計補正予算（第3号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 羽村市社会教育委員の委嘱について 羽村市図書館協議会委員の委嘱について 羽村市立小・中学校評議員会委員の委嘱について 羽村市いじめ防止対策推進基本方針について 羽村市議会へ提出された陳情について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和5年第8回 教育委員会 (定例会)	令和5年7月18日	議 報 報 報	羽村市立武蔵野小学校評議員会委員の委嘱について 教育委員会へ提出された陳情等について 教育長報告 教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和5年第9回 教育委員会 (臨時会)	令和5年8月8日	議 議 議	令和6年度使用小学校教科用図書の採択について 令和6年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について 専決処分の承認を求めることについて 〔教育委員会職員の人事について〕
令和5年第10回 教育委員会 (定例会)	令和5年8月22日	議 議 議 報 報	令和5年度羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 令和5年度羽村市一般会計補正予算（第4号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 羽村市郷土博物館条例の一部を改正する条例に係る意見聴取について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和5年第11回 教育委員会 (定例会)	令和5年9月19日	議 議 報 報 報	羽村市体育館管理運営条例の一部を改正する条例に係る意見聴取について 決処分の承認を求めることについて 〔羽村市公立学校管理職の人事について〕 羽村市立富士見小学校の臨時休業について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和5年第12回 教育委員会 (定例会)	令和5年10月17日	議 議 議 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市児童遊園条例等の一部を改正する条例〕 専決処分の承認を求めることについて 〔参事等の職の設置及び担当事務の指定に関する規程の一部を改正する規程〕 専決処分の承認を求めることについて 〔教育委員会職員の人事について〕 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和5年第13回 教育委員会 (定例会)	令和5年11月21日	議 議 報 報 報 報	羽村市学童クラブ条例の一部を改正する条例に係る意見聴取について 令和5年度羽村市一般会計補正予算（第6号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 保健調査カード（個人情報）の紛失について 令和6年羽村市二十歳のつどいについて 教育長報告 教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和5年第14回 教育委員会 (定例会)	令和5年12月19日	議 議 議 議 議 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市生涯学習センターゆとりぎ管理運営条例の一部を改正する条例に係る意見聴取〕 専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市体育館管理運営条例の一部を改正する条例に係る意見聴取〕 専決処分の承認を求めることについて 〔羽村市生涯学習施設等予約システムの利用に関する規則等の一部を改正する規則〕 羽村市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則 羽村市スイミングセンターの指定管理者の指定に係る意見聴取について 令和5年度羽村市一般会計補正予算（第8号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和6年第1回 教育委員会 (定例会)	令和6年1月16日	議 報 報 報	はむらの学校教育の改定について 専決処分の承認を求めることについて 〔教育委員会職員の人事について〕 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和6年第2回 教育委員会 (臨時会)	令和6年2月6日	議	羽村市立小中学校管理職の人事について
令和6年第3回 教育委員会 (定例会)	令和6年2月20日	議 議 議 議 議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔令和5年度羽村市一般会計補正予算（第9号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について〕 令和6年度羽村市教育委員会の教育目標について これからの羽村市立学校の在り方について 令和6年度羽村市一般会計予算のうち教育費に係る部分の意見聴取について 令和5年度羽村市一般会計補正予算（第10号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 第六次羽村市長期総合計画 前期基本計画 令和6年度実施計画・予算（概要説明）について 教育長報告 教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和6年第4回 教育委員会 (定例会)	令和6年3月26日	議	羽村市公立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
		議	羽村市教育委員会会計年度任用職員の任用に関する規程の一部を改正する規程
		議	羽村市教育委員会表彰規程の一部を改正する規程
		議	羽村市立学校学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
		議	羽村市社会教育委員の委嘱について
		議	羽村市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
		議	羽村市スポーツ推進委員の委嘱について
		議	羽村市スポーツ推進委員の委嘱について
		議	羽村市立学校産業医の選任について
		議	教育委員会職員等の人事について
		報	教育委員会へ提出された陳情等について
		報	令和4年度図書館評価について
		報	教育長報告
		報	教育委員会委員活動報告

教育委員会委員の主な活動報告

年月	活動内容	会場
令和5年4月	第4回教育委員会(定例会) 理事者、教育委員会委員及び教育委員会管理職と学校管理職との 顔合わせ式 教育長 訓示 新規採用教職員辞令伝達式 小学校入学式 中学校入学式 第5回教育委員会(定例会) 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会(定例会) 羽村市立小中学校管理職等歓送迎会	特別会議室 特別会議室 特別会議室 大会議室 各小学校 各中学校 特別会議室 第2学校給食センター ゆとろぎ
令和5年5月	第6回教育委員会(定例会) 羽村市体育協会通常総会 武蔵野小学校運動会 第96回ゆとろぎサロンコンサート 羽村市文化協会総会 東京都市町村教育委員会連合会 第67回定期総会	特別会議室 ゆとろぎ 武蔵野小学校 ゆとろぎ ゆとろぎ 東京自治会館
令和5年6月	教育委員会学校訪問① 第7回教育委員会(定例会) 教育委員会学校訪問② 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会(定例会) 青梅佐藤財団 子どもIT未来塾 教育委員会学校訪問③ 文部科学大臣賞 伝達式 文部科学省認定社会通信教育 優秀修了者表彰 市町村教育委員会研究協議会	羽村第一中学校 特別会議室 羽村西小学校 第2給食センター 青梅市役所 武蔵野小学校 ゆとろぎ 【オンライン開催】
令和5年7月	教育委員会学校訪問④ 第8回HAMURAメリーリボン演劇祭 第8回HAMURAメリーリボン演劇祭 第8回教育委員会(定例会) 教科用図書に関する研究会	栄小学校 ゆとろぎ ゆとろぎ 特別会議室 特別会議室
令和5年8月	学校マネジメント講座Ⅱ(講師) 第9回教育委員会(臨時会) 第10回教育委員会(定例会) 東京都市町村教育委員会連合会理事会・理事研修会	302会議室 大会議室 特別会議室 東京自治会館

年月	活動内容	会場
令和5年9月	第11回教育委員会(定例会) 佐々蔚先生秋彼岸お墓参り 教育委員会学校訪問 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会定例会	特別会議室 富士見霊園 松林小学校 第2学校給食センター
令和5年10月	教育委員会委員辞令交付 教育委員会学校訪問 東京都市町村教育委員会連合会研修会 第54回羽村市文化祭オープニングイベント 第54回羽村市文化祭 特別企画 講演会「自分から始める生涯学習」 I T 未来塾 青少年問題協議会 第12回教育委員会(定例会) 教育委員会学校訪問 東京都市町村教育委員会連合会第1ブロック研修会 教育委員会学校訪問 コミュニティ・スクール研修会 東京都市町村教育委員会連合会第2ブロック研修会 教育委員会学校訪問	羽村市役所(市長室) 羽村第二中学校 【オンライン研修】 プリモホールゆとろぎ(小ホール) プリモホールゆとろぎ(小ホール) 青梅市役所 羽村市役所(特別会議室) 特別会議室 羽村第三中学校 あきる野市中央公民館 富士見小学校 ゆとろぎ くにたち未来共創拠点「矢川プラス」 羽村東小学校
令和5年11月	教育委員会学校訪問 青少年健全育成の日事業 教育委員会学校訪問	羽村東小学校 ゆとろぎ(小ホール) 小作台小学校
令和4年11月	青少年健全育成の日 青少年健全育成の集い 第13回教育委員会(定例会) 教育委員会学校訪問⑩ 第13回教育委員会(定例会) 羽村市教育研究指定校 研究発表会 武蔵野小学校 音楽会	ゆとろぎ 特別会議室 松林小学校 特別会議室 羽村第三中学校 武蔵野小学校
令和5年12月	羽村西小学校 展覧会 家庭教育セミナー 羽村市体育協会創立60周年記念式典	羽村西小学校 コミュニティセンター ゆとろぎ
令和6年1月	第1回教育委員会(定例会) 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会定例会	特別会議室 第2学校給食センター

年月	活動内容	会場
令和6年2月	西多摩学校歯科保健研究大会 第2回教育委員会(臨時会) 令和5年度 未来を拓く子供応援フォーラム 第3回教育委員会(定例会) 令和5年度第1回羽村市総合教育会議 東京都市町村教育委員会連合会研修会	ゆとろぎ 特別会議室 国立オリンピック記念青少年総合センター (オンライン参加) 特別会議室 特別会議室 東京自治会館
令和6年3月	日野工業高等学園卒業式 第42回羽村市駅伝大会 教育委員会表彰(式典) 中学校卒業式 佐々蔚先生春彼岸お墓参り 小学校卒業式 第4回教育委員会(定例会)	日野自動車21世紀センター 富士見公園 ゆとろぎ 各中学校 富士見霊園 各小学校 特別会議室

教育委員会学校訪問

年月日	学校名	訪問内容	主な出席者
令和5年6月2日（金）	羽村第一中学校	・ 学校概要説明 ・ 授業参観（施設見学を含む） ・ 学校管理職との懇談会 ・ 給食指導見学・給食試食は1校のみ実施（羽村第二中学校）	教育長 教育委員会委員 教育委員会職員
6月23日（金）	羽村西小学校		
6月27日（火）	武蔵野小学校		
7月14日（金）	栄小学校		
9月27日（水）	松林小学校		
10月5日（木）	羽村第二中学校		
10月20日（金）	羽村第三中学校		
10月27日（金）	富士見小学校		
11月10日（金）	羽村東小学校		
11月14日（火）	小作台小学校		

資 料 編

1 根拠法令等

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

昭和31年法律162号

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成20年4月1日施行）

（平成27年4月1日改正）

羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、羽村市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を実施するために必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号の定めるとおりとする。

- (1) 点検 個々の施策及び事業のこれまでの取組状況や成果について取りまとめることをいう。
- (2) 評価 個々の施策及び事業についての点検を踏まえ課題を検討するとともに、今後の取組の方向性を示すことをいう。

(対象)

第3条 点検・評価の対象は、毎年度策定する「羽村市教育委員会の教育目標」に定められた基本方針に基づく主要施策及び事業とする。

(点検・評価の実施)

第4条 点検・評価は、前条に規定する主要施策及び事業について毎年1回実施するものとする。

- 2 点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者（以下「学識経験者」という。）の知見の活用を図るものとする。
- 3 前項に規定する知見の活用にあたっては、主要施策及び事業の進捗状況等を取りまとめ、学識経験者の意見を聴取する機会を設けるものとする。
- 4 教育委員会において点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を作成し、羽村市議会へ提出する。この場合において、報告書は公表するものとする。

(点検・評価に関する有識者の設置)

第5条 前条第2項に規定する学識経験者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」（以下「有識者」という。）を置く。

- 2 有識者は、2人とする。
- 3 有識者は、教育委員会が依頼し、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 有識者が欠けた場合における補欠の有識者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 有識者に対して、予算の範囲内で謝礼を支払うものとする。

(庶務)

第6条 点検・評価に関する庶務は、教育委員会に関する事務を所掌する課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成20年11月1日から施行する。

付 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成27年6月5日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規程の施行の際現に在職する教育長が地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号。以下「改正法」という。）附則第2条第1項の場合においては、改正後の要綱の規定は適用せず、改正前の要綱の規定は、なおその効力を有する。

発行 羽村市教育委員会

編集 生涯学習部生涯学習総務課

〒205-8601

東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1

TEL 042-555-1111

FAX 042-578-0131

URL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>